

# 令和6年度 しまくとぅば実践教育プログラム事業 事業報告書 目次

## 目次

しまくとぅば実践教育プログラム開発事業 事業報告書	1
1 はじめにー発刊にあたってー	2
2 実施概要	2
3 実践教育プログラムについて	4
3-1 舞踊実技（比嘉いずみ）	4
3-2 舞踊創作演習（比嘉いずみ）	8
3-3 琉球舞踊組踊研究Ⅰ（阿嘉修 嘉数道彦） 女物狂	11
3-4 琉球舞踊実技Ⅷ（嘉数道彦）	13
3-5 琉球舞踊組踊研究Ⅱ実技（嘉数道彦）	14
3-6 学生による授業評価アンケート	15
3-6-1 学生アンケート結果（R6・前期）	15
3-6-2 学生アンケート結果（R6・後期）	19
3-7 しまくとぅば関連授業の取り組み	23
3-7-1 琉球語（仲原）	23
3-7-2 詞章研究（鈴木）	24
4 「聖田京子先生ユンタク会」講演会概要	26
4-1 「聖田京子先生ユンタク会」アンケート結果	27
5 「誇らしゃ しまくとぅば」講演会概要	30
5-1 第14回 講演会「久米島ことばで語る芸能」概要	30
5-2 第15回 講演会「しまくとぅばで語る芸能人生」概要	34
6 次年度への展望	38
7 りゅう PON 連載記事・ていーち! Teach!! しまくとぅば	39
8 令和6年度しまくとぅば実践授業録画日一覧	51



# しまくとぅば実践教育プログラム開発事業報告書

## 1 はじめに — 発刊にあたって —

「沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」は、平成28年度より行われた「ハワイ大学等交流事業」の中の「しまくとぅばプロジェクト」で発足し、平成29年度には「ハワイ大学等交流事業 しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」と名称を変え、平成30年度から「ハワイ大学等交流事業」という名称を外して現名称で活動を行ってきた。内容はこれまでと変わらず、しまくとぅば実践教育とその方法、教材研究、そして普及活動という事業内容である。令和2年度から昨年度にかけては新型コロナウイルスのパンデミックがあり、イベントや講義の開催についても本事業に大きな影響が出た。しかし令和5年度から新型コロナウイルスがこれまでの2類相当の感染症から5類相当の感染症へと移行したことから、本学の教育活動も緩やかではあるもののコロナ以前へと移行し、以前のように講義やイベント開催が行えるようになった。

今年度も琉球芸能専攻教員のうち、比嘉いずみ教授・阿嘉修准教授・嘉数道彦准教授・新垣俊道准教授の協力を得て、琉球芸能専攻におけるしまくとぅば実践教育プログラム開発事業を実施した。今年度はこれまでに引き続き「舞踊創作演習」に中曽根律子先生、久米ひさ子先生を特別講義として、「貞女小」をご指導いただいた。講義については「3. 実践教育プログラムについて」を参照していただきたい。その他の特別講師による指導状況についても、詳細は上記の「3. 実践教育プログラムについて」を参照していただきたい。

そして今年度は昨年引き続き、聖田京子先生が5月に来沖されることになったので、聖田京子泉を囲んで「ユンタク会」を開催することができた。本会では、ハワイのオアフ島における琉歌創作の活動を報告いただき、講師としてハワイの琉歌会の事情に詳しい、琉球文学研究者の仲程昌徳先生をお招きした。沖縄関係者による、海外でのしまくとぅば文化の継承の状況を聞く、有意義な会となった。

今年度の「誇らしゃしまくとぅば講演会」は、これまでの趣向を変え、沖縄の諸地域のことで芸能を語る、という企画を考えた。第14回は国指定重要無形文化財「琉球古典音楽（野村流）」保持者（人間国宝）の中村一雄氏をお招きし、聞き手に琉球諸語の研究者であるハイス・ファン＝デル＝ルベ氏を迎え、久米島の言葉による対談を行った。そして、本学奏楽堂では第15回「誇らしゃしまくとぅば講演会」として、沖縄芝居役者の嘉数好子氏をお招きして、沖縄芝居におけるお話をしまくとぅばで語っていただいた。聞き手に本学の修了生であり、沖縄芝居役者の高宮城実人氏を迎え、内容の濃いお話が伺えた。これらは録画をして動画配信サイト（YouTube）を用いたネット配信を行った。本事業についての詳細は「5. 『誇らしゃ しまくとぅば』講演会」を参照いただきたい。

今年度もしまくとぅばの魅力を県内外に伝えるために、琉球新報社の子ども向け新聞「りゅうPON！」へ4月から毎月1回、「ていーち！ Teach!! しまくとぅば」と題して身近にあるしまくとぅばや本事業に関わる内容を分かりやすく紹介した。今年度は新たに「琉歌」というテーマを決め、12回の連載でその魅力や文化について伝えた。連載記事は本書p38～を参照していただきたい。

上記の事業を行った今年度の研究会のメンバーは以下の通りである。

鈴木 耕太（芸術文化研究所：事業代表者）

高良 則子（全学教育センター）

比嘉いずみ（音楽学部琉球芸能専攻）

阿嘉 修（音楽学部琉球芸能専攻）

嘉数 道彦（音楽学部琉球芸能専攻）

新垣 俊道（音楽学部琉球芸能専攻）

西岡 敏（沖縄国際大学教授、沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）

仲原 穰（県立芸大非常勤講師、沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員）

相談役：波照間永吉（沖縄県立芸術大学名誉教授）

令和6年度、研究会は基本的にリモート開催とした。研究会は前期4回、後期4回の合計8回開催した。

令和6年度の「沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業」の事業計画は以下の通りであった。

1. しまくとぅば実践教育プログラム開発研究会（毎月1回開催）。[担当：全員]
2. 前期4科目・後期4科目の実践教育を行う。[授業実施担当：比嘉・阿嘉・新垣・嘉数]
3. 「琉球語Ⅰ」へゲストスピーカーを招き、「実践教育プログラム」との連携を図る。[担当：仲原]（後期開催）
4. しまくとぅば講演会（第14回：7月・第15回：2月）。[担当：全員]
5. 実践教育におけるしまくとぅばキーワードの蒐集（データの集積および編集）
6. 聖田京子先生ユンタク会（5月）。[担当：鈴木・比嘉]
7. 「琉球舞踊実技」における副教材の研究開発（継続）。
8. 授業における教員—学生間の会話事例集の作成および刊行（継続）。

本事業は沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻という教育現場に「しまくとぅば」を導入し、教育実践することで、琉球芸能を教授するときにおいて、「しまくとぅば」でしか表現出来ない独特の「わざ」や表現を学習させ、学生の表現力や作品理解力などを総合的に高めようというねらいから行われた事業である。本年度の事業成果については、各章に詳細を掲載した。次年度以降も実践教育プログラムの対象の講義やイベントを増やしていく計画である。本年度の結果を踏まえ、よりよい教育プログラムを作成し、琉球芸能および文化における「しまくとぅば」の用語を充実させていきたい。（文責：鈴木耕太）

## 2 実施概要

今年度は前期4回・後期4回の合計で年8回の会議を行い、以下のように事業を実施した。5月には聖田京子先生が来沖されることとなり、「ユンタク会」を開催することとなった。開催に当たって、ハワイのオアフ島における琉歌創作の現状について講演していただくことが決定された。また、内容に合わせ、琉球大学元教員、ひめゆり資料館理事長であり琉球文学研究者の仲程昌徳先生をお招きし、ハワイにおける琉歌の創作活動についてこれまでの琉歌会や、ハワイ創作琉歌の概要についてお話しいただいた。

しまくとぅば実践教育の授業では、授業を担当する教員にそれぞれの授業を担当する「特別講師」を選定してもらい、研究会の承認を経て、「特別講師」の先生方へ事業内容を説明し、4月から前期、10月から後期、そして休暇期間（8月や年末・年度末）および集中講義期間（9月・12月・2月）の授業実践を担当する特別講師が決めて実施した。特別講師は「舞踊実技（比嘉）」が宮城幸子先生、「舞踊実技（嘉数）」は二代目宮城能造先生、「組踊実技」は金城清一先生となった。各特別講師の先生のプロフィール等は、次の授業実践の報告に譲ることとする。

「しまくとぅば講演会」については、今回から新たな取り組みとして首里ことばや那覇ことばではなく、離島を含めた地域の言葉で芸能を語っていただくという企画を出し、第14回は適任者として久米島町出身の中村一雄先生を講師として行うことが決定された。聞き手には久米島の言葉を研究している、ハイス・ファン＝デル＝ルベ氏が推薦された。第15回は沖縄芝居の名役者である嘉数好子先生を招聘し、聞き手には若手芝居役者の高宮城実人氏を招いて行うことが決定された。また、本講演はコロナ以前に行っていた講演会と同じ状況で実施され、5年ぶりとなる「通常」講演となった。

りゅうPONではこれまで季節風土に合わせて、しまくとぅばやしまくとぅば文化についての

紹介を行ってきたが、今年度は「琉歌」という一つのテーマを絞って展開した。1年間、計12回にわたって琉歌を紹介し、しまくとぅば文化のひとつを深く広く紹介できたと感じる。

今年度の実施事項の詳細は以下の通りである。以下に時系列で示した。

令和6年	
4月10日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
4月15日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
4月17日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
4月22日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
4月23日	第1回しまくとぅば実践教育研究会
4月24日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
5月8日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
5月13日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
5月20日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
5月21日	第2回しまくとぅば実践教育研究会
5月22日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
5月29日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月7日	第3回しまくとぅば実践教育研究会
6月3日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
6月17日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
6月5日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月12日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月13日	授業収録（琉球語Ⅰ：新垣）
6月19日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
6月24日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
6月26日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月3日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月8日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
7月10日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月17日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月19日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
7月23日	第4回しまくとぅば実践教育研究会
7月24日	授業収録（舞踊創作演習Ⅰ：比嘉）
9月16日	授業収録（琉球舞踊組踊研究Ⅱ：嘉数）
10月6日	授業収録（琉球舞踊組踊研究Ⅱ：嘉数）
10月11日	授業収録（琉球舞踊組踊研究Ⅱ：嘉数）
10月28日	授業収録（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
10月31日	第5回しまくとぅば実践教育研究会
11月11日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
11月18日	授業収録（舞踊実技Ⅳ：比嘉）
11月25日	第6回しまくとぅば実践教育研究会
11月25日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
12月9日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）

12月16日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
12月23日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
12月25日	第7回しまくとぅば実践教育研究会
<b>令和7年</b>	
1月17日	授業収録（琉球舞踊実技Ⅷ：嘉数）
1月20日	授業収録（舞踊実技Ⅰ：比嘉）
1月27日	第8回しまくとぅば実践教育研究会
1月28日	授業収録（琉球舞踊組踊研究Ⅱ（琉球舞踊）：嘉数）
2月6日	授業収録（琉球舞踊実技Ⅷ：嘉数）
2月13日	授業収録（琉球舞踊実技Ⅷ：嘉数）
2月14日	授業収録（琉球舞踊組踊研究Ⅱ（琉球舞踊）：嘉数）
2月19日	授業収録（琉球舞踊組踊研究Ⅱ（琉球舞踊）：嘉数）
3月27日	第9回しまくとぅば実践教育研究会

### 3 実践教育プログラムについて

#### 3-1 舞踊実技（比嘉いずみ）

実践授業 1：舞踊実技Ⅰ・Ⅱ

**授業期間** 前期：令和6年4月15日～7月8日

後期：令和6年10月28日～令和7年1月20日

**授業回数** 前期：8回 後期：8回

**対象学年及び受講人数** 前期：学部1年生4名 後期：学部2年生3名

##### 特別講師について

宮城幸子（みやぎ ゆきこ）91歳／「真踊流佳幸の会 会主」

昭和26年に琉球舞踊真踊流家元の真境名佳子師に入門され（芸歴73年）、昭和43年に宮城幸子琉舞道場を開設し、昭和58年に沖縄タイムス芸術選賞大賞を受賞。平成8年、沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」技能保持者に認定され、平成21年には国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（総合認定）保持者に認定、令和元年に沖縄県功労者として表彰された実績を有している。真境名佳子師からはしまくとぅばでの舞踊指導を受けており、当時の指導法を体得し、伝授できる重鎮な舞踊家の一人である。

令和3年に琉球舞踊立方として初めて国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。

##### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
チブルヌマチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の天辺からお尻まで一つ（体の中に軸を立てる）
ドゥーテューサーニ ウビーリヨー	体で覚えなさい（体得する）
イチ ニュジュシトウ マジュン シチャワタンカイ ネーチリ イリレー	息を抜くと同時に、下腹にあげを入れなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
クシイシャーニ ウッチャカレー	腰を据えて寄りかかりなさい
メーンカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
サンシンヌ チル フミヨー	三線の弦を踏みなさい

キーワード	意味・動作など
チブルヌマチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の天辺からお尻まで一つ（体の中に軸を立てる）
イチ ニュジュシトウ マジュン シチャワタンカイ ネーチリ イリレー	息を抜くと同時に、下腹にあげを入れなさい
メインカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
シナヌ ナーカンカイ ヒサ イッティ ウヌ シナ トウバサン グートウー ヒサ ンジャセー	砂の中に足を入れて、その砂を飛ばさないよう足を出しなさい
シチャワタンカイ ネーチリイリレー	下腹にあげをいれなさい
リクチューアランドー ドゥーテイサーニ ウビーリヨー	理屈ではなく、身体で体得しなさい
チュビョウシ ヌジュン	一息抜く
ウッチャカレー	寄りかかりなさい
サンシンヌ チルフミヨー	三線の弦を踏むように歩きなさい
ウリタイ ヌブタイ	下りたり上ったり
ドゥーテイサーニ ウビーリヨー	身体で体得しなさい
クトウバ ワシウーネー クニ ワシーン	生まれ故郷の言葉を忘れると、ふるさとを忘れるのと同じだ
スリケーラン グトウニ クシンカイ ユルミ イリレー	振り返らないようにして、腰にゆるみを入れなさい
ドゥーテートウ マジュン ヒサ ヒッパッティ イチュン	胴体と一緒に、足を引っ張っていく
シナヌナーカンカイ ヒサ イッティ シン キットウ バサングトウ ンジャセー	砂の中に足を入れて、砂を蹴っ飛ばさないように、足を出しなさい
メインカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
ドゥーテイサーニ ウビーリヨー	身体で体得しなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
スリケーラン グトウニ ウッチャカレー	振り返らないで、寄りかかりなさい
ハニーネ ヤファッテングワァー	跳ねる時は柔らかく
クシサーニ ミグティ イチュン	腰でもって、回っていく
クシンカイ ユルミ イリレー	腰にゆるみを入れなさい
メインカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
チブルヌ マチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の頂点からお尻まで結ぶ
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
ドゥーテイサーニ ヒサ ヒッパッティ イチュン	胴体で足を引っ張っていく
イチ ヌジュシトウマジュン シチャワタンカイ ネーチ リイリレー	息を抜くのと同時に、下腹に上げを入れなさい
チブルヌ マチジカラ チビヌミーマディ ティーチ	頭の頂点からお尻まで結ぶ
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
ドゥーテイサーニ ウッチャカレー	胴体で前に寄りかかりなさい
ヤファッテングワァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
ナーヒン アギイリレー	もう少し、下腹に上げを入れなさい
ハニーネ ヤファッテングワァー	跳ねる時は、柔らかく
クシ イシヤーニ ウヌマーマー ウッチャカレー	腰を据えて、そのまま前に寄りかかりなさい

キーワード	意味・動作など
シニクイ チカレー	シニクイ（脇腹を波のように動かす）を使いなさい
ウッチャカレー	寄りかかりなさい
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく、足を出しなさい
ハニーネ ヤファッテングワァー	跳ねる時は、柔らかく
クシ ミグラサーニ ウッチャカイル ウッピ	腰を回して、前に寄るだけ
クシ イシーネー ヒサヌ ンジャシ ヤッサル トウクルヌ アル ハジ	腰を据えると、足の出しやすい所があるはず
マルヌベー サングトゥー ヒサ ンジャセー	全部伸び切らないで、足を出しなさい
ドゥーテイサーニ ウビーリョー	身体で体得しなさい
イチ ヌジュシトウ マジュン シチャワタンカイ ネーチリイリレー	息を抜くのと同時に、下腹にあげをいれなさい
メーンカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
ネーチリイリレー	上げを入れなさい＝腰を入れなさい
スリケーター ナラン	振り返ってはいけない
ミーヌ チカラン ヌジュン	目の力も抜く
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく足を出しなさい
クシ ミグラサーニ ウヌマーマァー ウッチャカレー	腰を回したら、そのまま寄りかかりなさい
クシサーニ ヒサ ヒッパッティ イチュン	腰で足を運んでいく
ミジチン ヤファッテングァー	目付けも柔らかく
ナーヒン ウッチャカレー	もっと、前に寄りかかりなさい
クシサーニ ヒサ ヒッパッティ イチュン	腰で足を運んでいく
ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
シチャワタンカイ アギイリレー	下腹にあげをいれなさい
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく、足を出しなさい
クシ ミグラサーニ ウッチャカレー	腰を回したら寄りかかりなさい
ドゥーター サーニ モーユン	身体で踊る
クシ イシヤーニ ウヌマーマァー ウッチャカレー	腰を据えて、そのまま寄りかかりなさい
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく、足を出しなさい
メーンカイ ウッチャカレー	前に寄りかかりなさい
サンシンヌ チル フミョー	三線の音を踏むように歩きなさい
クシ ミグラサーニ マルヌベー サングトゥー ヒサ ンジャセー	腰を回した後は、伸びきらないで、足を出しなさい
ユイン チキョー	音楽の余韻も大切に聞きながら歩きなさい
ヤファッテングァー ヒサ ンジャセー	柔らかく、足を出しなさい
ユイン チキョー	音楽の余韻も大切に聞きながら歩きなさい
ミーヌ チカラ ヌジュン	目の力を抜く
サンシンヌ チル フミョー	三線の音を踏むように歩きなさい
ドゥーターサーニ ヒサ ヒッパッティ イチュン	胴体で足を運んでいく
イチ ヌジュシトマジュン シチャワタンカイ ネーチリイリレー	息を吐くのと同時に、下腹に上げを入れなさい
ウッチャカレー	寄りかかりなさい

キーワード	意味・動作など
ヤファッテングアー ヒサ ンジャセー	柔らかく、足を出しなさい
ミーヌ チカラン ヌキヨー	目の力も抜きなさい
ドゥーテーサーニ ヒサ ヒッパッティ イチュン	胴体で足を運ぶ
サ ハニール トゥチネー ヒサヤ ヌバセー	足を跳ねる時は、足（膝）は伸ばしなさい

## 学生の反応・印象に残った言葉など

### 【前期】

- ① 今回受講する学生は1年次4名（男子1名・女子3名）で、第1回目の授業では少し緊張気味であった。・姿勢・歩み・回転の3つの基本を意識しながら歩みを重点的に繰り返し行い、宮城幸子先生に細かく一人一人ご指導いただいた。
- ② つま先を出すときに力が入っている学生が多く見受けられ、「砂ぬ中かい足入ってい、うぬ砂飛ばさんぐーとうー、足出じゃせー」のイメージが掴めるよう、反復練習を続けていく。
- ③ だいぶ力が抜けて、歩み、表情がよくなりつつある。普段の生活の中で、姿勢を整え、体幹を鍛える事は、美しい踊りに繋がることを教えていただき、歩みの練習にも生かされていた。
- ④ 歩みはじめと50分経過後では、足さばきや身体使い目の表現などに、大きな変化が見られ、基礎練習の反復と体に覚えさせることの大切さが感じられる。息の抜き方が少しずつ、体得してきたように見受けられる。背中力が抜けきらない学生がいる。
- ⑤ 上げを入れの動作を、体得しつつある。団扇の扱いが不十分である
- ⑥ 次回は、宮城先生の最終授業なので、試験に向けて一人一人演じ、確認を行う。
- ⑦ 前期試験の前に、一人一人宮城先生に見ていただき、最終確認を行った。
- ⑧ 授業の最後に、宮城先生から教わった授業の感想をそれぞれ学生が発表し、基本の修得の大切さについて感想を述べていた。

### 【後期】

- ① 入学から1年半経過し、それぞれの表情や表現に自信が窺うことができた。
- ② 基本の部分で、それぞれ癖（歩み・姿勢・回転）などが見受けられるので、自然体な身体使いや表現を習得してほしい。
- ③ 肩や背中力がかなり抜けてきており、姿勢が良くなっている。入り身＝ガマク入れ、の使い方が難しいように感じられる。
- ④ 「稲まづん」出羽の曲の取り方が少し難しいように感じられる。息使いと動作が連動してできるようになると、踊りやすくなると感じる。
- ⑤ 宮城先生のしまくとうばでの表現を理解しようと努力しているが、歩みの足の出し方で、交差する足運びの癖がある学生、また右肩を引く癖がある学生など、無意識のうちに行っている動作があるため、本人が修正を必要とする意識が大切である。
- ⑥ 2名の学生が休みだったため、基礎練習や舞踊の細かい所作、音楽の曲のとり方など、詳細の部分まで宮城先生に指導して頂き、学生にとって貴重な充実した時間であったように感じられた。
- ⑦ 後期試験に向けて、一人一人演舞を行い、宮城先生にご指導して頂いた。
- ⑧ 各流派の身体使いや表現の違いはあるが、琉球舞踊の基本はどの流派にも共通するものがある。今後、自分自身の身体表現を模索する中で、今回の授業が学生にとって、大きな手掛かりとなる授業内容であったと感じた。

## 今年度の授業について

### 【前期】

前期受講した1年次(3名)は、しまくとぅばに少し戸惑いもあったが、回を重ねるごとに基本動作(姿勢・歩み・回転)が美しく整い、舞踊表現の土台となる基礎力の向上が感じ取れた。

### 【後期】

昨年に続き、宮城幸子先生の指導による「しまくとぅば授業」で、古典女踊り「作田」を学び、改めて基礎の大切さを学ぶことができた。

## 次年度への展望

今回習得したしまくとぅばを使用しての基礎習得を、今後も継続して体得してほしい。本事業も8年目となり、しまくとぅばによる実技指導の成果と重要性が、学生を通して感じることができた。これらの貴重な「わざ言語」の保存と継承法などを研究会で検討し、今後の伝統芸能の普及と発展につなげていきたい。

## 3-2 舞踊創作演習(比嘉いずみ)

実践授業2：舞踊創作演習I

**授業期間** 前期：令和6年4月10日～7月24日

**授業回数** 前期：15回

**対象学年及び受講人数** 学部3年生／聴講生1名

### 特別講師について

中曽根律子(83歳)／「劇団うない 代表」

1941年本部町に生まれ、1964年(23歳)に乙姫劇団に入団。2002年の閉団までの38年間、県内をはじめ県外・海外で団員として活躍。2004年には、新たに「劇団うない」が旗揚げされ、2009年に同代表として「琉球歌劇」の若手育成を行いながら、公演活動を行っている。2011年に沖縄タイムス芸術選賞「演劇部門功労賞」を受賞し、2013年には沖縄県指定無形文化財「琉球歌劇保持者」に認定された。2016年より本学の非常勤講師として、舞踊創作演習Iの科目で「琉球歌劇」を指導。

久米ひさ子(64歳)／「劇団うない 団員」

1960年沖縄市に生まれ、1975年(15歳)に乙姫劇団に入団。2002年の閉団までの27年間、団員として活躍された。その後2004年に旗揚げされた「劇団うない」では、演者のみならず企画制作全般を担い、琉球歌劇を通して沖縄の豊かな文化(肝心)を次世代に継承していきたいと、若手育成にも尽力されている。2021年より、中曽根律子氏の指導助手として、琉球語と「琉球歌劇」の演技を指導。

## しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
ドゥーヤシク ナインドー	やりやすくなる
カチイラン イラン	選び選び
カン ウッサル	とても嬉しい
アヤーメー	お母様
アイグァーメー	奥様

キーワード	意味・動作など
ウーヤマ チリタン	大変なことになった
アンヤイビサ	そうなんです
ウダンナガフウ ドゥーガフウ	旦那様の果報、私の果報
トーサリトー	それでは
チャーガナグァーシ トウラサンナー	どうにかしてくれないか
トージャーフエー	これは大変
ナーイチデージャサ	もおー大変なことになった
チブル ヤリドー	頭が痛い
ヌーヌ シワン ネン	何の心配も無い
サワнна ケーヒャー	さわるな
チャーヤタガ	どうだったのか？
ウミブシ チラ ナティ	梅干し顔になって
ワーサー ナトーサ	酷い顔になっている
ナンジ ヤ アラニ	難儀ではない
ユーベー	妾
ユヌ タキ ナラングトゥ	同じ位にならないように
マットーバー ンカトーン	真正面に向かっている
ミドウクルヌ アティドゥ	見所があったからこそ
ウシラッティ	押し付けられて
ンジャグァー	使用人
クーチ ヌ アートン	息が合っている
ハチ チョーサ	急いできている
トウーティ ンミカキレー	問いただしてみてください
ハジカシ ムン ヤサ	恥ずかし者だ
ダンダンヌ クトゥ イチ	様々なことを言って
シーティ イッチョーイ ビン	敢えて言っている
シチャーシーチャ シ	ソワソワして
ハーエー ナティ	走って
マーンカイ イチュタガ	何処に行ったのか
アンヤイビミ	そうです
カミティ	拝む
ンジ	そうね
ヘーク チチーネー ウカサンドー	早く着くとおかしいよ
ワビ シシミソリ	誤ってください
カフーシ ドー	有り難い
イチ ナビラ	言ってみるか
ナヌダンドー	頼んだからな
ンパドン ヤイドウン	いやだというなら
クッピ	これだけ
ウビー トーキ ヨ	覚えておきなさい
チャー ヤタガ	どうだったか
クトゥワキ シミセークトゥ	説得してくれたので
ウワチミソリ	お歩きください
ターリー	お父さん

キーワード	意味・動作など
ナーチュケン	もう一回
ハーエー ナイガチ トゥバー	走りながら飛びなさい
カーンカイ チカジケー	川に近づきなさい
ヌー ンチャガ	何を見たか？
ジャーフェー ナトーサ	大変になっている
タンディ カマドー	どうかカマドー
テーファ ンチ チチ	冗談だと聞き流し
ヌヌン サラチャイ	布を晒したり
ンジャーニ	見てから
トゥジ ナユシ	妻になるのが
カンゲティ クィリ	考えてくれ
フスク ネーラン	不足がない
チバティ ハタラチュイ	頑張っているのか？
チュクトゥバ チガイネー イミン チガティ チュー ル トゥチン アイン	一つ言葉が違うだけで、味が違う時がある
ナー ジンブン ジンブンヌ ンジティ チョーン	それぞれの個性や特徴が出てきている
ジンブン ンジャセー	知恵を出しなさい
ヤマチリトン	大変なことになっている
ドーチュイ アビー	独り言
ウチキヤーニ	おいて
ウーティ イチュン	追いかけていく
アマンカイ イチュンドー	あそこに行きなさい
ンジティ チャーニ	出てきてから
ドゥク トゥーサン	あまりにも遠すぎ
カンシ ワビ スクトゥ	このように詫びをするので
ンチ ンーデー	見てみなさい
チュナミ アミセル	人並みにあるさ
ヌーヌ ウシワン シミソーラングトゥ	何の心配もしないで
イミン ミーケーシ ゲーシ	夢を繰り返し見ていた
ムチケー カミケー スル	持ったり置いたり
アヤー ミグトゥ	アヤ (母)、よくできた
ウワシリ ミソーチ	お忘れになって
ムンヌ ヤリタンナー	ものが言えたね
クークー ナティ イチュン	小さくなっていく

### 学生の反応・印象に残った言葉

- ① 初回の授業では、DVDの鑑賞後に、台本の読み合わせを行った。
- ② 今回の受講生3名はしまくとぅばがほとんど話せないが、聴講生の池原(古典音楽コース3年次)君が、ウチナー口が話せるので、全体のリードをして頂き、琉球歌劇通してウチナー口に慣れ親しんで、楽しみながら学習していただきたい。
- ③ 台本を一通り読み合わせ、その後に配役を決めてそれぞれのパートを歌ってもらった。それぞれ意外とスムーズに歌えたので次回からは、立ち練習に入るようになった。
- ④ 立ち稽古を行ったが、台本を持っては所作ができないため、できるだけ早めに台詞や歌を覚えて、表現ができるようにする。

- ⑤ それぞれの役や全体の様子を把握しつつある。男性と女性の声の高さ調整して、少し低めにキーを設定して行った。
- ⑥ 笠や湯呑みなどの小道具も使用し、扱い方も含めてお芝居の表現を学び、幅を広げてほしい。
- ⑦ 一人一人も声の高さや幅が出てきていることを感じた。
- ⑧ プロの役者を相手に演じることで、その世界に引き込まれ、学生の演技力もかなり上がっていくのを感じた。声の高さや幅が、少しずつ増してきている。
- ⑨ 演技においても、試行錯誤しながらアドリブがあり、役作りができつつある。発声、発音がとてもよくなってきた。所作も明確になっていて自然体になりつつある。
- ⑩ それぞれが、役になりきり、表現を楽しんでいるように感じられる。
- ⑪ 本番に使用する衣装・小道具を扱いながら練習を行うことで、所作や役の雰囲気引き出せれ、それぞれ個性が光ってきている。
- ⑫ 台詞がはっきりしない部分があり、意味を理解しながら話すようにとの注意があった。衣装や小道具の扱い方もよくなった。
- ⑬ 感情が台詞や所作にも感じられ、役作りができつつある。各々が歌劇を楽しんでいるように感じられる。
- ⑭ 本番通りのゲネプロができたことで、舞台空間の使い方や距離感を体感できたようであった。
- ⑮ 観客席まで届く音量であることも確認し、自信が持てたようだった。

### 今年度の授業について

歌劇「貞女小」は、登場人物が4名必要な作品のため、学生1名に聴講生として参加してもらい、15回の授業で沖縄語の台詞と芝居表現を学び、成果発表を兼ねた舞台収録を完了できた。

### 次年度への展望

次年度は、3名の学生が受講することが予想される。そのため講師の先生方と相談の上、早めに演目を選定し、この授業を通してウチナーグチをはじめ、芝居における心情や所作の表現方法などを体得することで、琉球舞踊や組踊における表現の幅が、広げられるよう取り組んでいく。

## 3-3 琉球舞踊組踊研究Ⅱ（阿嘉修 嘉数道彦）

実践授業3：琉球舞踊組踊研究Ⅱ 組踊 「女物狂」

授業期間 前期：令和6年9月16日～10月11日

授業回数 後期：3回

対象学年及び受講人数 院生2年次1名、4年次2名、3年次1名、2年次2名

### 特別講師について

宮城能鳳（みやぎのうほう） 国指定重要無形文化財「組踊」保持者（各個認定）

1961年、初代宮城能造に師事。1986年、重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）となり、1990年、沖縄県立芸術大学教授に就任（現在、名誉教授）。2005年からは国立劇場おきなわの組踊養成研修講師を務めている。2006年、初の組踊立方の人間国宝に認定。

嘉手苧林一（かてかる りんいち） 国指定重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）

宮城能鳳に師事。沖縄県立芸術大学助手、非常勤講師を務めつつ、国指定重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）に認定。現在、国立劇場おきなわの組踊養成研修講師を務めている。宮城本流鳳綾羽の会会主。

### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
チチーガイチュン	(組踊は) 聞きにいく、聞くものだ
クシ ウトゥチ	腰を落として
メーンカイ アーシェー	前の人に合わせなさい
クィーヤ アギティ	声の高さは上げて (高めに)
クミウドゥイヤ ターガンナイシガ ターガンナラン	組踊は誰でも出来るが、誰にでも出来るものではない。
スピチアッケー	(箆を) 引きずって歩きなさい
ヌーディー フィラチ	喉を開いて
ウタンカイ アティランネー	歌 (音楽) に合わせなさい
ガマクイッティ ミグレー	腰をいれて廻りなさい
色アーシヨー	化粧の色は合わせなさいよ
メーンカインジティ	前に出て
インチャサンネースン	(着物の長さが) 短いような気がする。
ウヌヤクヤク チムイッティ	それぞれ役に応じて、心を込めて (演じなさい)

### 学生の反応・印象に残った言葉

学生も初めは緊張している様子であったが、気さくな先生の対応に後半は笑みもこぼれ、和やかに授業を進めることができた。

緊張のあるなか、先生から一言一句しっかり学ぼうとする姿勢が印象的であった。実際に演じながら、先生のアドバイスを受け、細かい技法を学ぶことができたのではないだろうか。

本番直前に、観客席から先生に見て頂き、最終の指導を頂いたことから、学生自身も安心して本番に臨めたような感があった。

### 今年度の授業について

定期公演で上演する組踊「女物狂」の指導者として、本学の名誉教授であり、組踊立方の人間国宝の宮城能鳳先生と嘉手苺林一先生をお招きし、授業を行った。台詞や所作等はおおよそ仕上げ、細かい点を確認、指導して頂きながら、本番リハーサルの舞台稽古まで対応して頂いた。唱えや所作演技はもちろん、舞台の居所確認、衣装着付け、扮装など細部にわたる指導で教員含め、学びの多い授業となった。学生 (特に女子学生) にとっては、接する機会の少ない保持者の先生方から直に指導を受け、有意義な授業となった。

### 次年度への展望

次年度の取組について (今年度からの反省点、今後の展望など)

本事業のあり方のひとつとして、直接の授業ではなく、今回のように定期公演や学内演奏会等の舞台に向け、特別講師として外部の先生方を招聘するスタイルも今後検討できるかと感じた。次年度以降も、学生の意向や研究テーマ等とあわせ、実践教育プログラムのあり方を検討していきたい。

### 3-4 琉球舞踊実技Ⅷ (嘉数道彦)

実践授業4：琉球舞踊実技Ⅷ 創作舞踊「トゥバラーマ」

**授業期間** 前期：令和7年1月17日～2月13日

**授業回数** 後期：3回

**授業期間** 後期：令和7年1月17日～2月13日

**授業回数** 後期：3回

**対象学年及び受講人数：学部4年次 2名**

#### 特別講師について

瀬名波孝子(せなは たかこ)

1933年、那覇市久茂地生まれ。真楽座で初舞台を踏む。戦後、松劇団をはじめ様々な劇団で経験を積み、夫の松茂良興栄とともに、みつわ座を旗揚げ。その後、沖映演劇の主演女優として、二枚目から三枚目、老け役まで幅広く演じ、また舞踊の創作作品も多く、観客を魅了してきた。現役の沖縄芝居役者の重鎮として、現在でも舞台を務めながら後進の指導にあたっている。県指定無形文化財「琉球歌劇」保持者。

#### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
チンプチバーンカイ チラミシティ	客席に顔を見せて
チャーガンディイチ モーレー	どうだと言わんばかりに踊りなさい
チャクヌウッサスルグトゥ	お客様が喜ぶように
ハジカサスンネー ミーウトゥチ	恥ずかしがるように目線を落として
ミーアーシヨ	しっかり見つめ合って
チムヌイランネー ウムコーネーランドー	気持ちがこもっていないと、面白くないよ
イエーティヌシーヤッサルグトゥ	相手がやりやすいように

#### 学生の反応・印象に残った言葉

沖縄芝居の大御所である講師から、演技表現の手法を少しでも受け取ろうという姿勢が伝わった。所作・演技の指導をはじめ、着付けや扮装なども細かくアドバイスしてもらえることが嬉しく、とても有意義に学んでいる感があった。

手順をしっかりと覚えこなしている学生の成果を認めつつ、さらにどうすれば魅力的な舞台になるかを追求し指導していくのが印象的であった。常に観客を意識しながら、踊り手の個性を活かし妥協せずに作り込む姿勢は、役者ならではの感性を感じることができた。また、稽古の合間の芸談を含む話も、多くの経験を重ねてきた講師ならではの、学生も興味深く聞き入っていた。

#### 今年度の授業について

2月に開催される学内演奏会にて上演する演目として、瀬名波孝子先生の創作舞踊「トゥバラーマ」を取り上げ、指導を依頼した。沖縄芝居役者ならではの視点から舞踊を指導する授業は、新鮮であるとともに、学生も興味を示し楽しく学んでいたのが印象的である。指導の合間、長年の舞台経験から得た表現方法や芸談など、貴重なお話を伺う機会でもあった。学内演奏会のリハーサルでは、化粧・着付け等についてもアドバイス頂き、学生にとっても大変有意義な授業となった。

#### 次年度への展望

沖縄芝居の中で誕生した舞踊作品は、各流派で継承される作品と異なり、次世代へ受け継がれる機会のない作品も多いのが現状である。今回は、瀬名波先生の「トゥバラーマ」を取り上げ

たが、本人も若手に踊ってもらえるのが嬉しく熱のこもった指導であった。次年度は、引き続き瀬名波先生へ協力して頂き、役者舞踊として育まれてきた作品を定期公演などで発表できるよう計画を進めたい。

### 3-5 琉球舞踊組踊研究Ⅱ 琉球舞踊（嘉数道彦）

実践授業 5：琉球舞踊組踊研究Ⅱ 「柳」「汀間当」

授業期間 後期：令和7年1月28日～2月19日

授業回数 後期：3回

対象学年及び受講人数：院生2年次 1名

#### 特別講師について

宮城能造（みやぎ のうぞう） 宮城流二代目家元

昭和28年に初代宮城能造に師事し、幼き頃から琉球舞踊はじめ組踊、沖縄芝居など数々の舞台上で研鑽を積む。昭和45年に家元より名取（宮城能葵）を許名され、昭和48年に教師免許授与、後進の育成にもあたりつつ、県内外での舞台活動を積極的に行ってきた。平成13年に二代目宮城能造を襲名、平成30年、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者。

#### しまくとぅばキーワード

キーワード	意味・動作など
ドゥーウトゥチ ドゥームツチ	胴（身体）を抑えてから、持ち上げる
クシ イシティ	腰を据えて
アジマーアジマーサングトゥ	足の運びが交差しないように
ドゥーブイグワー	リズムに合わせた身体の振り、身のこなし
ティー ムチャギティカラ	手を持ちあげてから
ムラサームラサー ナラングトゥ	化粧の色がムラにならないよう

#### 学生の反応・印象に残った言葉

昨年に引き続いての授業であったことから、講師との距離も自然と近くなり、自ら積極的に質問したりしていた。しまくとぅばに関しても、意味を問いながら自身の踊りに活かすよう努めている様子が印象的であった。

古典女踊りの基礎となる歩みから、丁寧に細かく指摘し、的確な指導を行ってくださったのが印象的であった。小道具の扱いや身のこなしなど、自ら手本を示しつつ、授業がスムーズに進められた。雑踊「汀間当」では、歌詞に沿った所作の意味などを教えつつ、また結髪や化粧、着付け等に関しても丁寧に指導して頂いた。

#### 今年度の授業について

昨年に引き続き、大学院の授業「琉球舞踊組踊研究」にて、宮城能造先生をお招きし実施した。修士演奏にて上演する演目「柳」「汀間当」を取り上げ、総仕上げとして細かい所作や表現について指導していただいた。昨年度に引き続いての授業であったことから、先生との距離も縮まり、しまくとぅばによる指導に関しても、自主的に意味を尋ね理解に努めていた。踊りの所作と同じく、しまくとぅば、沖縄の言葉の面においても、多くの学びがあったように感じられた。しまくとぅば講演会当日のリハーサルにも立ち会っていただき、扮装結髪等についても、舞台裏でご指導いただくことができた。

## 次年度への展望

今回は授業で学んだ成果を、修士演奏と、しまくとうば講演会の前舞踊として二回にわたり、舞台上で発表することができ、大変効果的で有意義な授業になったと感じた。しまくとうば講演会の内容を出来るだけ早めに検討し、前舞踊で上演する演目なども事前に調整しながら授業と組み合わせることができると、なお良いのではないか。可能なら、講演会の講師を授業でもお招きし、実技の指導をしていただき、その発表もあわせてできれば、さらに充実した講演会と授業になるのではと感じた。

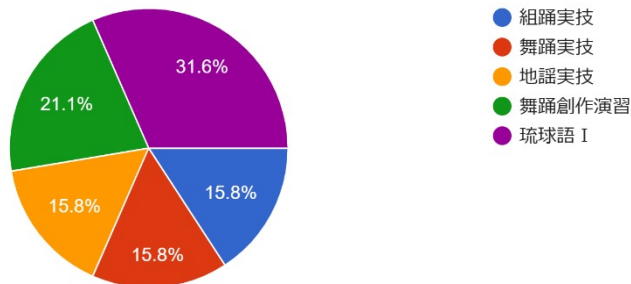
## 3-6 学生による授業アンケート

### 3-6-1 学生アンケート結果 (R6・前期)

令和6年度(前期)授業評価アンケート 総まとめ

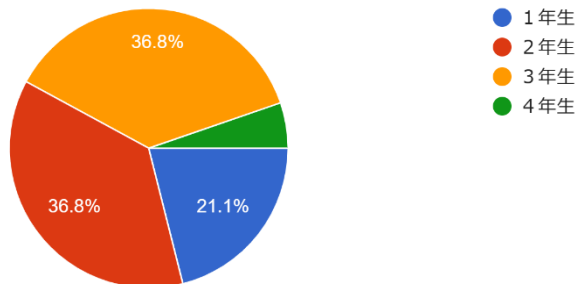
受講した授業名にチェックをお願いします。

19件の回答



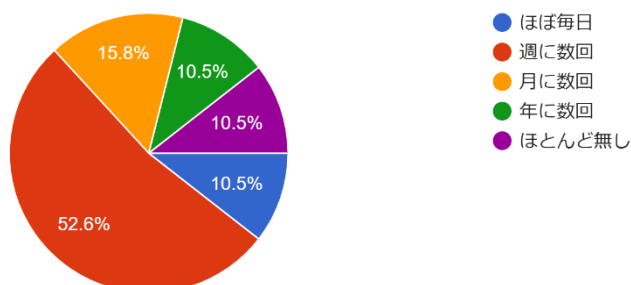
あなたの学年を教えてください。

19件の回答



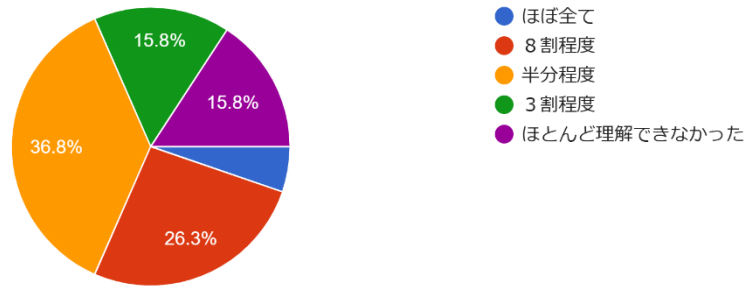
1-①この授業を受けるまで。しまくとうばに接する機会はどのくらいありましたか。

19件の回答



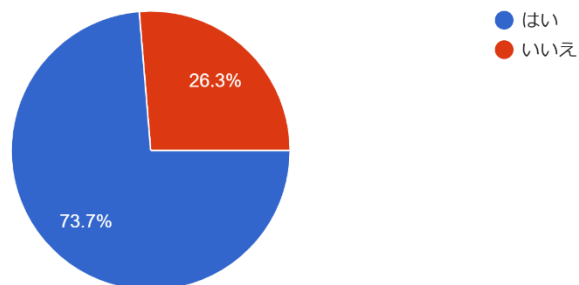
1-②この授業を受けるまで。しまくとぅばをどれくらい理解できましたか。

19件の回答



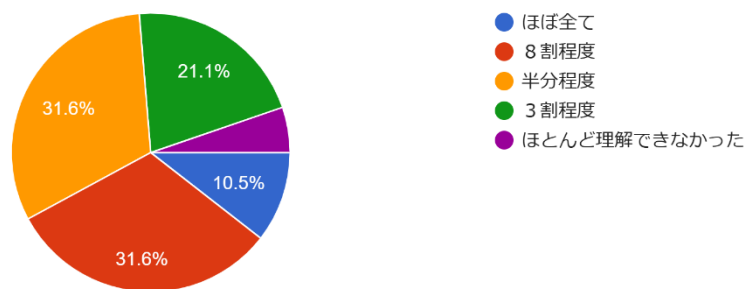
1-③この授業を受けるまで。しまくとぅばを意識していましたか。

19件の回答



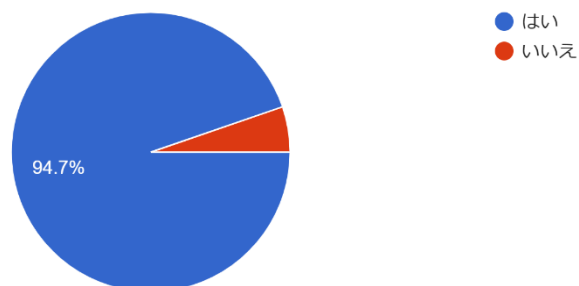
2-①この授業を受けている間。授業内で使用されたしまくとぅばをどれくらい理解できましたか。

19件の回答

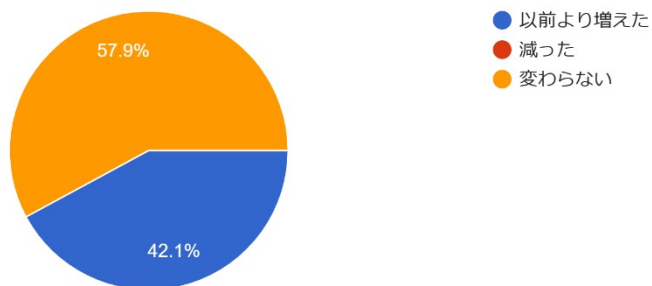


2-②この授業を受けている間。しまくとぅばを以前より意識していましたか。

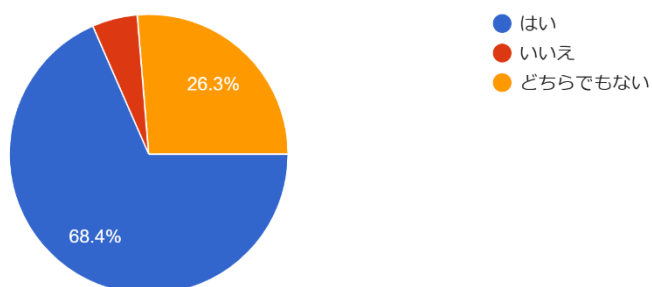
19件の回答



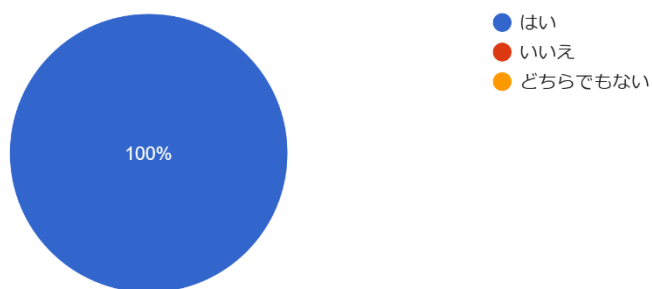
2-③この授業を受けている間。授業外でしまくとぅばを使用する機会はどのくらいありましたか。  
19件の回答



2-④しまくとぅばによる実技指導は、標準語での指導と比べて理解しやすいと感じましたか。  
19件の回答



3-①今後について。しまくとぅばに接する機会を増やしたいと思いますか。  
19件の回答



3-②今後について。しまくとぅばをもっと学びたい・使いたいと思いますか。  
19件の回答



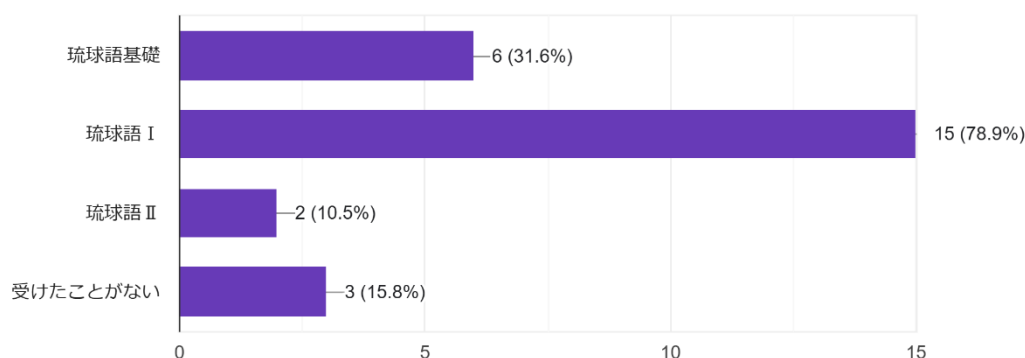
3-③今後について。しまくとぅばでの実技の授業をまた受けたいと思いますか。

19件の回答



4 下記の授業を受講された方は授業名にチェックをお願いします。（複数回答可）

19件の回答



5 授業の感想・意見、印象に残っている言葉などがありましたらご自由にお書きください。

12件回答

- うちなーぐちのニュアンスが日本語より分かりやすかったりしました。踊りに関するうちなーぐちをしれて良かったです。すごく楽しかったです。
- とても勉強になることがありすぎて、楽しかった、良かったです。もっとお話しきいていたかったです
- 地謡や一人で演奏するにしても、歌詞を読んで理解してより深くすることで、自分なりの演奏ができる。という事を聞いて意識しようと思いました。
- 初めて沖縄語だけの授業はいつもの標準語と違って、新鮮でおもしろかったです。
- よい勉強になりました。若い時の学び方も感動しました。
- 今回しまくとぅばに触れて今まで知らなかった方言や何となくでしか知らなかった方言の意味がしれました。またそういう意味だったのかとまた新しく覚える方言もあって楽しみながら授業を受けることができました。
- 細かいニュアンスを全て分からないのがやさしかった。ずっとなんとなくしかわからないのもっとくわしく分かるようになりたい。
- 先生のしまくとぅばでの指導をよく理解できなかったのも、同級生に通訳してもらえながら授業に取り組みました。回数を重ねるうちにわからないなりに少しずつ耳が慣れてきて、何となく話されている内容が推察できることもあり、やはりしまくとぅばに接する機会を多く持つことが大切だと感じました。

- ・理解できることもあったし、少しずつ理解できることもあったから楽しかった。
- ・自分の理解はまだまだだと感じた。だけど舞踊に関することばが出たとき理解したので、これまで少しずつ触れてきているのが分かった。
- ・あまり話を聞くことがない先生から、方言を使っての講話を聞いてとてもよかったです。独自の呼吸方法なども知ることができ、ぜひ自分の稽古の際にも活用してみようと参考になりました。
- ・方言で話すことでふつうの言葉よりわかりやすかったです。

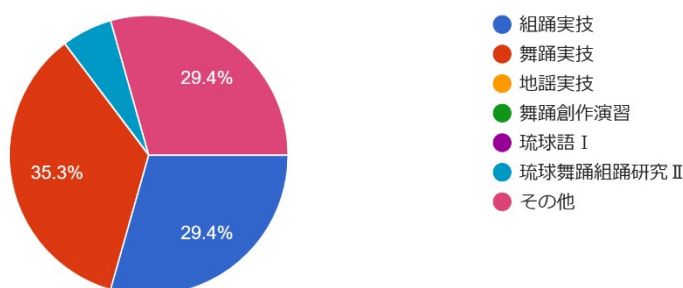
### 3-6 学生による授業アンケート

#### 3-6-2 学生アンケート結果 (R6・後期)

令和6年度(後期)授業評価アンケート 総まとめ

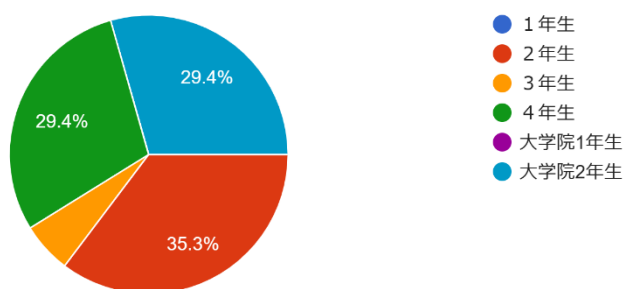
受講した授業名にチェックをお願いします。

17件の回答



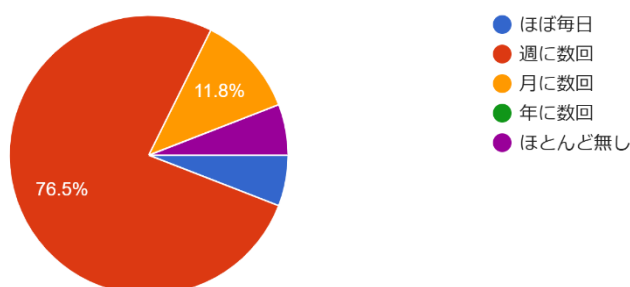
あなたの学年を教えてください。

17件の回答

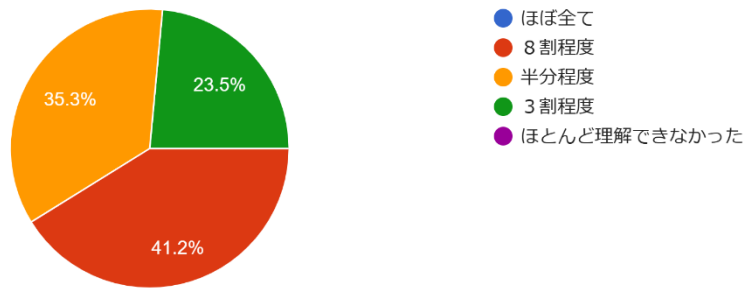


1-①この授業を受けるまで。しまくとぅばに接する機会はどのくらいありましたか。

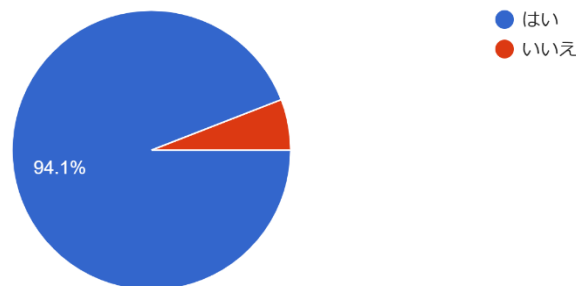
17件の回答



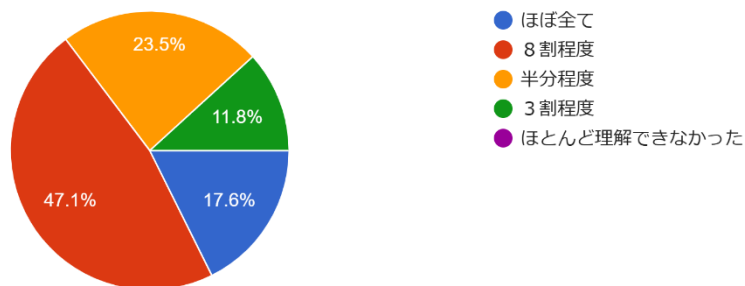
1-②この授業を受けるまで。しまくとぅばをどれくらい理解できましたか。  
17件の回答



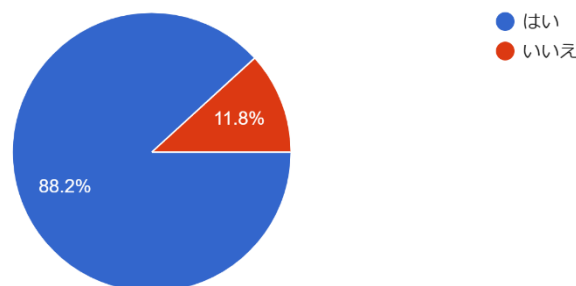
1-③この授業を受けるまで。しまくとぅばを意識していましたか。  
17件の回答



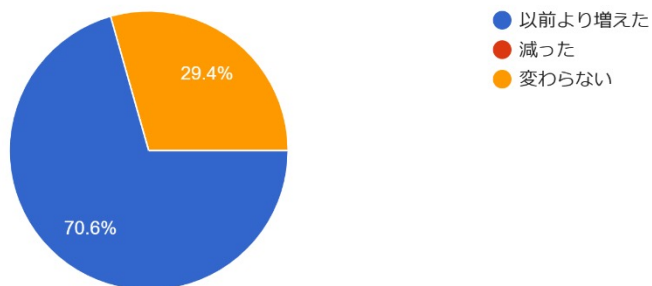
2-①この授業を受けている間。授業内で使用されたしまくとぅばをどれくらい理解できましたか。  
17件の回答



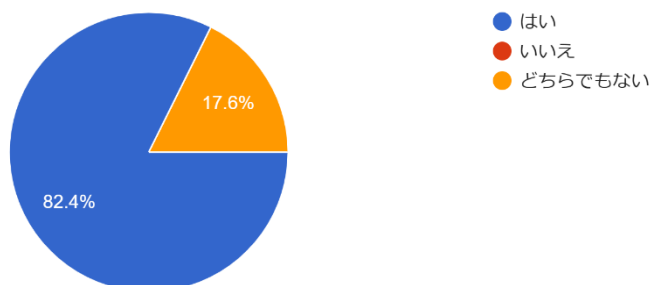
2-②この授業を受けている間。しまくとぅばを以前より意識していましたか。  
17件の回答



2-③この授業を受けている間。授業外でしまくとぅばを使用する機会はどのくらいありましたか。  
17件の回答



2-④しまくとぅばによる実技指導は、標準語での指導と比べて理解しやすいと感じましたか。  
17件の回答



3-①今後について。しまくとぅばに接する機会を増やしたいと思いますか。  
17件の回答



3-②今後について。しまくとぅばをもっと学びたい・使いたいと思いますか。  
17件の回答



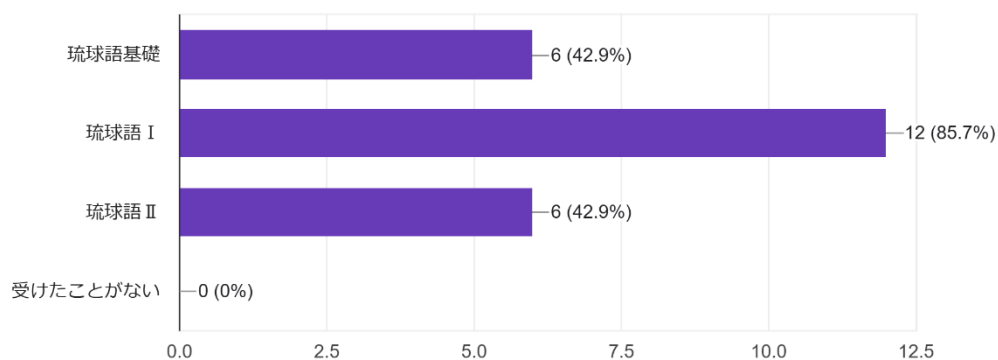
3-③今後について。しまくとぅばでの実技の授業をまた受けたいと思いますか。

17件の回答



4 下記の授業を受講された方は授業名にチェックをお願いします。（複数回答可）

14件の回答



5 授業の感想・意見、印象に残っている言葉などがありましたらご自由にお書きください。

9件の回答

- さすが瀬名波孝子！さすが芝居役者！となるようなエピソードを聞かせていただきました。沖映演劇時代の逆立ち幽霊のアドリブ。盟友 宮里澄子先生とのお話、トゥバラーマーの振付のソース etc,
- 能鳳先生からは、ガマクを使って目付き「ミヅイチ」をなさいと指導をして頂きました。
- 沖縄芝居と普段話すしまくとぅばの違いを少し感じられた。
- 去年にも続いて幸子先生の授業を受けることができて良かった。同じ言葉で指導してもらえることが、とても分かりやすく身につけやすかった。
- 人間国宝の宮城能造先生に組踊を指導して頂き、とても緊張しましたが、とても幸せな時間でした。
- 唱えの発声、発音の仕方も細かくご指導してくれてしまくとぅばの基礎基本の大切さがわかった。
- 能造先生とのお稽古で緊張している私にいつもニコニコとお話かけてくださりました。わからない言葉があると道彦先生が通訳してくれる流れでの稽古で、とても新鮮であったとともに踊りだけではなく、うちなーぐちについても、もっと理解せねば、、、とても素敵な機会をいただきありがとうございました。
- もっと単語を覚えて使えるしまくとぅば増やしたいです。
- しまくとぅばは標準語より親しみやすいなと感じました。

## 3-7 しまくとぅば関連授業の取り組み

### 3-7-1 琉球語（仲原穰）

実施期間：令和6年4月11日（木）～7月25日（木）

授業回数：15回

受講年次：琉球芸能専攻 14人（学部4年生3人、3年生4人、2年生7人）、交換留学生1人

担当教員：仲原 穰

#### 1. 「琉球語Ⅰ」受講生の構成および「琉球語基礎」の受講状況

「琉球語Ⅰ」は、現在音楽学部琉球芸能専攻の2年生「必修科目」となっている。

受講生は主に琉球芸能専攻の学生である。彼らはこれまで身に付けた経験や大学に入学後の授業などの学びのなかで琉球語に触れあっている。しかし、一部の学生を除いて、多くは沖縄語の母語話者の日常会話を聞き取ることができない状況であった。

令和6年度の「琉球語Ⅰ」の受講生は14人が受講したが、初級科目の科目である「琉球語基礎」を過去に受講した学生は6人である。残りの8人の受講生は琉球語の基礎を学んでいない状況であった。

#### 2. 「特別授業」との関わり

本関連科目の受講生は、なかでも琉球芸能専攻の学生は、1年の頃から「琉球語」で紡がれた詞章を謡い、踊り、紡がれてきた「琉球芸能」を学んでいる。必修科目や選択科目のなかで履修の中心として体得してきた琉球芸能に比べ、体を使わない座学の本科目は一見関連のないように思える。一見座学しか見えない本科目は、「語学の習得」という短期記憶の反復学習による長期記憶へと昇華させる一連の動きが、稽古を積み重ね、舞台経験を経て自分なりの芸を身に付ける動きと非常に良く似た学びであることを知れば、より身近になるだろう。琉球語を理解できれば、芸能の先達の話すことばの端々から様々な学びのヒントを得ることができる。

本科目ではしまくとぅば実践の「特別授業」の講師の先生（特別講師）にご協力いただき、「琉球語Ⅰ」の授業のなかで「しまくとぅば講話」を実施してきた。近年は「誇らしやしまくとぅば講演会」で講師を務めて下さった先生や講師の候補になる先生にもお願いするようにしている。

#### 3. 今年度のゲスト講師と「しまくとぅば講話」の日程

本年度は「琉球古典」、野村流音楽協会師範の銘苺盛隆先生にゲスト講師を依頼し、快諾していただいた。本学の新垣俊道先生に依頼をお願いし、鈴木耕太先生や事務局にも助力を得た。

2024年6月13日（木）3限の授業（「琉球語Ⅰ」9回の授業時）に銘苺盛隆先生をお招きし、「しまくとぅば講話」をしていただいた。講話にあたり、聞き手として新垣俊道先生に同席してもらい、事前に打ち合わせた柱立てを元に講話してもらった（司会は仲原が担当）。

#### 4. 「しまくとぅば講話」の内容

##### 4.1. 銘苺盛隆先生の「しまくとぅば講話」の主な内容

銘苺盛隆先生の「しまくとぅば講話」は、以下の柱立てを元に行われた。所々、日本語を交えたこともあり、聞きやすい沖縄語であった。

- ・生まれ育った故郷について、生活の様子など
- ・三線をはじめたきっかけは父親の影響が大きい。
- ・県外でギターを弾いて流しをしていた頃の思い出
- ・古典をはじめめる前の三線演奏（民謡酒場、民謡など）。
- ・松田先生の指導法—技芸、芸論、心得—

- ・地謡活動の中での経験、エピソード、先輩や諸先生方（音楽・舞踊）からの助言など

#### 4.2. 受講生のアンケート結果（琉球語の理解度）

受講生のうち、「しまくとぅば講話」を受講したのは11名であり、受講後にアンケートを記入してもらった。

特に注目したのが「しまくとぅば講話」の内容をどの程度理解できたかという、理解度である。回答は「ほぼ全て」が18.2%、「8割程度」が27.3%、「半分程度」が27.3%、「3割程度」が18.2%、「ほとんど理解できなかった」が9.1%であった。本科目の到達目標は、琉球語、なかでも沖縄語を聞き取る「リスニング能力」を5割と設定しているが、9回目の授業であることを鑑みれば、出席した7割以上の受講生が半分以上の内容を理解できており、喜ばしい結果となった。

#### 4.3. 受講生によるアンケートの自由記述

- ・初めて沖縄語だけの授業はいつもの標準語と違って新鮮で面白かった
- ・地謡や一人で演奏するにしても歌詞を読んで理解してより深くすることで自分なりの演奏ができるということを知り意識しようと思った
- ・自分の理解度はまだまだだと感じた。だけど舞踊に関する言葉が出た時理解したのでこれまで少しずつ触れてきてるのがわかった
- ・方言で話すことで普通の言葉よりわかりやすかった
- ・とても勉強になることがありすぎて楽しかったし、よかったです。もっとお話聞いていたかったです。
- ・よい勉強になりました。若い時の学び方も感動しました。
- ・あまり話を聞くことが無い先生から方言を使っての講話を聞いてとてもよかったです。独自の呼吸法なども知ることができ、是非自分の稽古にも活用してみようと参考になりました。
- ・細かいニュアンスを全てわからないのが悔しかった。ずっと、なんとなくしかわからないのもっと詳しくわかるようになりたい。

### 5. まとめ

ゲスト講師による「しまくとぅば講話」を実施し、生の沖縄語に触れることのメリットは非常に大きい。また歌唱法や古典音楽を本格的に始める前の話や師匠との話など、普段聞いたことのない内容を聞けることも良い刺激になったようである。次年度もゲスト講師による講話を実現させていきたいと願っている。

#### 3-7-2 詞章研究（鈴木）

##### 講義概要

「詞章研究」講義は、前期に「詞章研究Ⅰ」、後期に「詞章研究Ⅱ」の内容で開催している琉球芸能専攻1年次の必修科目である。また、同専攻の2年次の必修講義である「詞章研究Ⅲ」は組踊における詞章を学ぶ講義である。担当教員は鈴木耕太である。講義テーマは「古典音楽・琉球舞踊に深くかかわる「琉歌」について学ぶ」とし、本科目では沖縄の古典音楽や楽劇の詞章の基本をなす琉歌について、講義において詞章の語義・通釈・鑑賞を行っている。最終的に学生自身がこの琉歌形式になじみ、琉歌の韻律を体得し、琉歌の解釈が自力で出来るような知識と方法の習得をめざす。各講義のシラバスは以下の通りである。

##### 詞章研究Ⅰ

第1回：琉歌および琉歌集についての概説（琉歌集というテキストについて）

- 第 2 回：琉歌および琉歌集についての概説（詠み歌と唄について）
- 第 3 回：琉歌および琉歌集についての概説（琉球舞踊に用いられる琉歌と本歌について）
- 第 4 回：琉球舞踊の琉歌の解釈①古典女踊「作田」
- 第 5 回：琉球舞踊の琉歌の解釈②古典女踊「かせかけ」
- 第 6 回：琉球舞踊の琉歌の解釈③古典女踊「柳」
- 第 7 回：琉球舞踊の琉歌の解釈④古典女踊「天川」
- 第 8 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑤古典女踊「本貫花」
- 第 9 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑥古典女踊「諸屯」
- 第 10 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑦古典女踊「伊野波節」
- 第 11 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑧古典女踊「苧引」
- 第 12 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑨古典女踊「本嘉手久」
- 第 13 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑩古典女踊「稻まづん」
- 第 14 回：琉球舞踊の琉歌の解釈⑪古典女踊「瓦屋節」
- 第 15 回：琉球舞踊「女踊」の琉歌の解釈　まとめ

### 詞章研究Ⅱ

- 第 1 回：雑踊の琉歌の解釈①「花風」
- 第 2 回：雑踊の琉歌の解釈②「浜千鳥」
- 第 3 回：雑踊の琉歌の解釈③「むんじゆる」
- 第 4 回：雑踊の琉歌の解釈④「谷茶前」
- 第 5 回：雑踊の琉歌の解釈⑤「加那よー」
- 第 6 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈①「かぎやで風節」(他、上巻に収録されているもの)
- 第 7 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈②「金武節」(他、上巻に収録されているもの)
- 第 8 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈③「特牛節」(他、上巻に収録されているもの)
- 第 9 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈④「十七八節」(他、中巻に収録されているもの)
- 第 10 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑤「茶屋節」(他、中巻に収録されているもの)
- 第 11 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑥「永伊平屋節」(他、中巻に収録されているもの)
- 第 12 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑦「散山節」(他、下巻に収録されているもの)
- 第 13 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑧「仲風節」(他、下巻に収録されているもの)
- 第 14 回：琉球古典楽曲の琉歌の解釈⑨「述懐節」(他、下巻に収録されているもの)
- 第 15 回：雑踊・古典楽曲の琉歌の解釈　まとめ

### 詞章研究Ⅲ

- 第 1 回：組踊についての概説①（組踊の歴史：1719年・1756年の冊封）
- 第 2 回：組踊についての概説②（組踊の歴史：1800年～戦前期まで）
- 第 3 回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」①（着付・配役）
- 第 4 回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」②（若松の出羽～あるじ女との問答）
- 第 5 回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」③（あるじ女との問答～末吉の寺）
- 第 6 回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」④（寺の小僧達の問答）
- 第 7 回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」⑤（鬼女変化の場～「いのり」）
- 第 8 回：組踊の詞章解釈「執心鐘入」⑥「執心鐘入」まとめ
- 第 9 回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑦（着付・配役）
- 第 10 回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑧（あまおへの出羽～二童の出羽）
- 第 11 回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑨（母と二童の別れの場）
- 第 12 回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑩（あまおへの春遊びの場）

第13回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑪（あまおへの春遊びの場～仇討）

第14回：組踊の詞章解釈「護佐丸敵討」⑫「護佐丸敵討」まとめ

第15回：組踊の詞章解釈 まとめ

### しまくとぅば関連の取り組み

本講義は琉球古典語を学習することを目的としているが、琉球古典語は「首里ことば」の韻文体であるため「しまくとぅば」と密接な関係を持っている。また、琉歌によっては口語体、すなわち「首里ことば」を用いたものもあるため、「しまくとぅば」を学習することで本講義の理解度も深化する。今年度は昨年度の取り組み同様、琉球芸能専攻 1 年次の必修科目「詞章研究Ⅱ」において、「琉歌を創作する」という講義を実施した。古い琉歌の構造を講義しながら、その「構造」に合わせて受講生が琉歌を創作する、というものである。実際に琉歌を創作することが初めての学生が多かったが、韻文の琉歌の創作について、意欲が多いに見られた。今後は実作の機会を多く持ちたいと思う。今年度は 1 年生の創作した琉歌を「りゅうPON」の誌面で掲載することができた。次年度は前期と後期の 2 回、1 年生を対象にして創作活動を行い、本事業とも深く関わらせていきたい。

## 4 「聖田京子先生ユンタク会」講演会概要

開催趣旨（チラシ掲載文）

昨年度5月に開催された「聖田京子講演会 しまくとぅばを次世代につなぐ～ハワイ・沖縄の事例を通して～」の企画第2弾として、聖田京子氏（ハワイ大学マノア校・東アジア文学言語学科名誉教授）をお招きして、ハワイでの「がじまる会」の活動やこれまでのハワイにおけるしまくとぅばの普及活動について御報告いただきます。また、仲程昌徳氏（ひめゆり平和祈念財団理事長・元琉球大学教授）による「ハワイにおける琉歌」についての講話も行います。

最後はお二人の先生を交えて、これからのしまくとぅば継承についての希望や展望、沖縄以外の地におけるしまくとぅば、および沖縄文化の継承について、楽しく「ユンタク」を行います。



沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業 主催講座  
**聖田京子先生「ユンタク会」**

2024年5月15日(水)午後3時 (開場2時半)  
 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 3階小講堂  
沖縄県那覇市首里金城町3-6 (沖縄県立芸術大学首里金城キャンパス)

講師 **聖田京子** 氏 ハワイ大学 名誉教授  
**仲程昌徳** 氏 ひめゆり平和祈念財団理事長

司会進行 **鈴木耕太** 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所准教授  
 沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育  
 プログラム開発事業プロジェクトリーダー

問い合わせ 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 098-882-5615

開催日：2024年5月15日(日)午後3時

会場：沖縄県立芸術大学 芸術文化研究所 小講堂(3階)

## 講師略歴

聖田 京子（旧姓大城）教育学博士

ハワイ州立ハワイ大学マノア校 東アジア文学・言語学科 名誉教授。

真喜屋小 - 那覇中 - 那覇高校 - 慶應義塾大学（通信教育課程）、インディアナ大学からハワイ大学に編入、修士号を取得後、ハワイ大学教育学部より博士号を取得。

留学前は、県内企業で6年、中高の教員として4年間勤務。ハワイ大学では、40年に渡り教鞭をとり、Center for Okinawan Studies 沖縄研究センター所長を務めたのち、2010年にハワイ大学名誉教授。現在も、教育・研究活動を続けている。在職中、ハワイ大学やハワイ言語教員会よりティーチング・アワードを受賞。2011年、日本政府より瑞宝中綬章を受賞。

仲程昌徳

ひめゆり平和祈念財団理事長・元琉球大学教授。

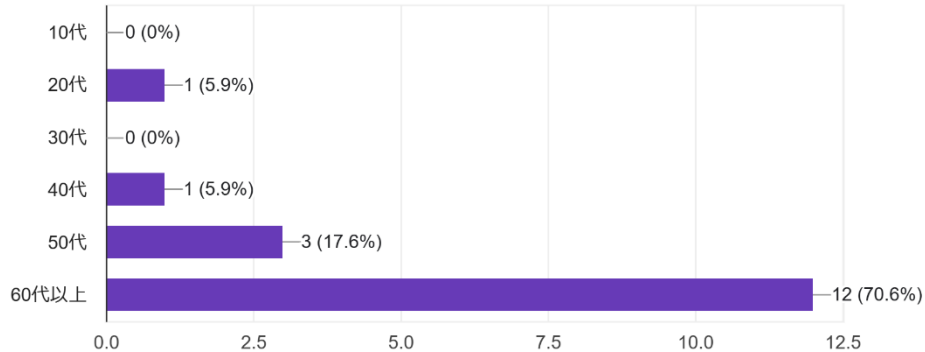
南洋テニアン島カロリナスに生まれる。琉球大学文理学部国語国文学科卒業後、法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻修士課程修了。1973年、琉球大学法文学部文学科助手として採用され、以後2009年3月、定年で退職するまで同大学で勤める。

現在もなお、琉球・沖縄文学に関する著書を精力的に発表している。

## 4-1 「聖田京子先生ユンタク会」アンケート結果

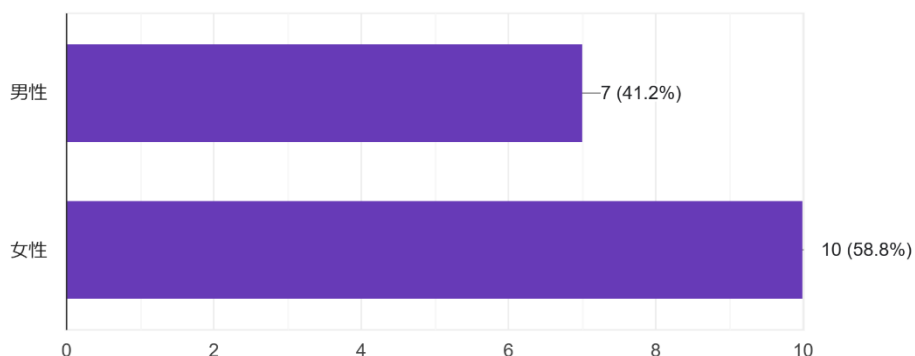
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。①（年齢）

17件の回答



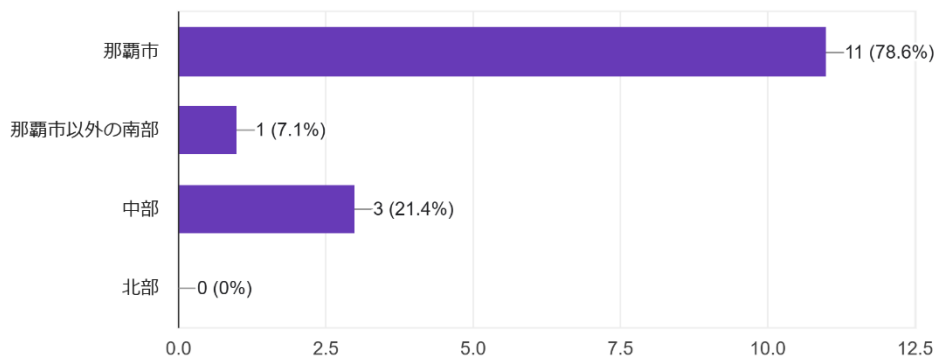
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。②（性別）

17件の回答



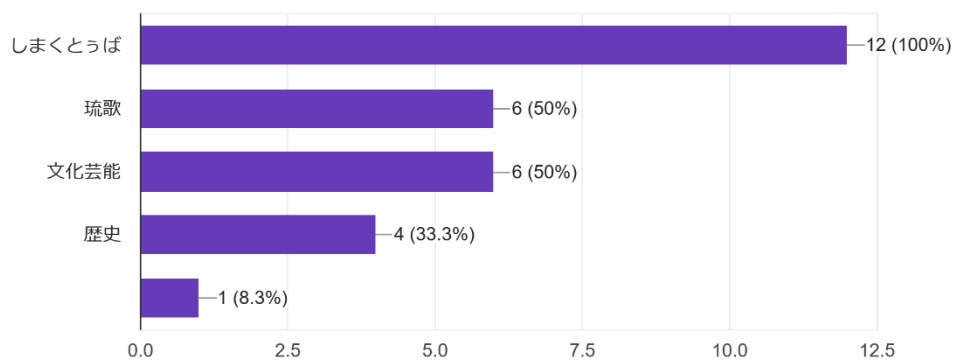
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。③（地域）

14件の回答



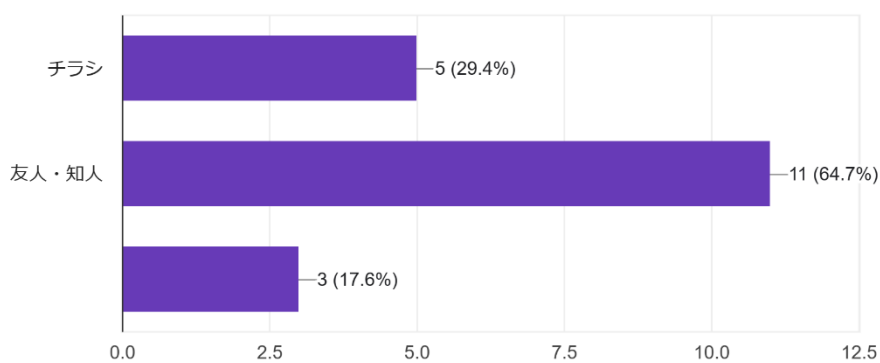
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。④（興味のある内容）

12件の回答



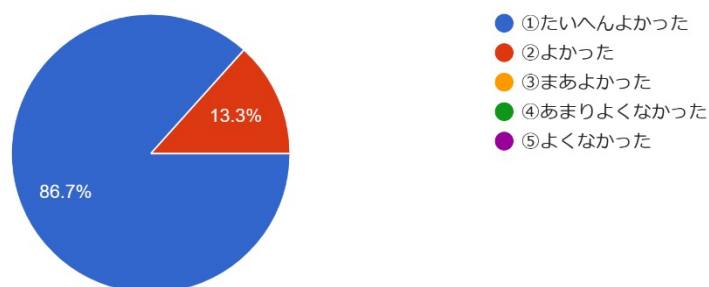
2 この講座をどのようにして知りましたか？該当するのを○で囲んでください。

17件の回答



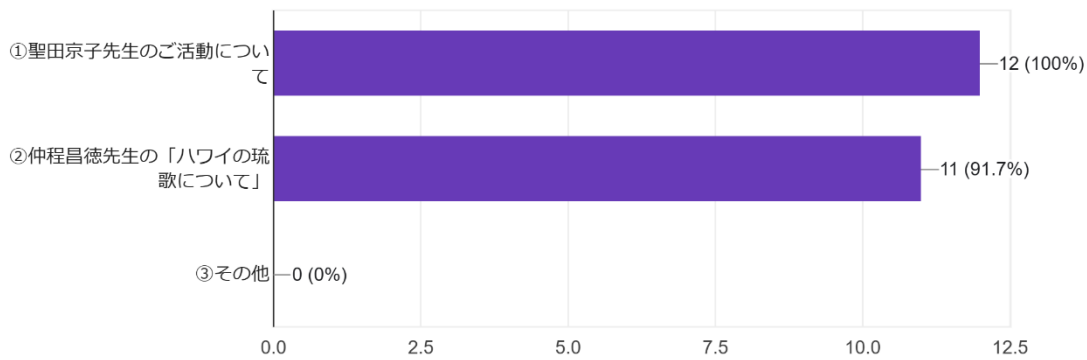
3 今回の講座について該当する番号を○で囲んでください。（1）本日の講演はいかがでしたか？

15件の回答



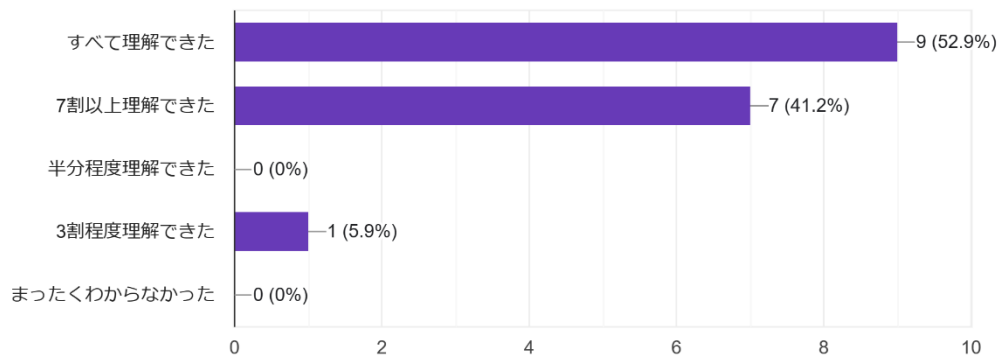
(2) 本日の講座の中で興味・関心があったものを○で囲んでください。

12件の回答



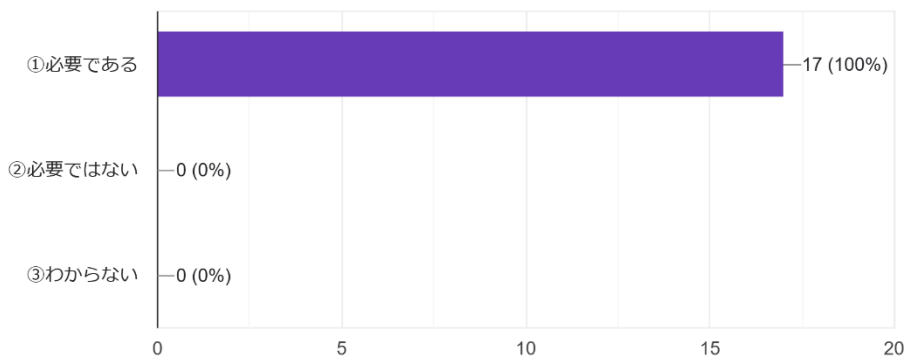
(3) 本日使用されたしまくとぅばをどの程度理解できましたか？

17件の回答



4 本学の琉球芸能専攻におけるしまくとぅば事業について(1)どのようにお考えでしょうか？

17件の回答



(2) 本事業および今回の講演会についてご意見・ご感想、次回への要望などありましたらお書きください。13件の回答

- ・琉歌についてもっと学びたいと思いました。
- ・また、このような機会がありましたら嬉しいです。ありがとうございます。琉歌を作りたいと思います。
- ・芸大の金城キャンパスでのイベントをもっと開催してください。
- ・素敵な時間をありがとうございました。

- ・仲程先生の研究から見たハワイでの琉歌の様子素晴らしかったです。ハワイアンルネッサンスから同化でなくて沖縄独自の文化を復興して新聞に琉歌をのせることになったという話が感動でした。聖田先生は第1回の会の時に宣言していたことをすぐに実践なされてそのバイタリティと思いの深さに頭が下がります。私も頑張りマス
- ・首里くとうばを4月から学んでいます。今日の先生方のユンタク会はとても勉強になりました。ありがとうございました。次回もお願いします。
- ・琉歌で幅広い交流がとてもうれしかったです。ハワイとウチナー
- ・ハワイの文化とウチナーの文化の両方の香りが琉歌に込められた生活感のある身近に感じました。ウチナー版モモタロウ！是非 演劇（ハワイ・沖縄）で実現してほしいです。その他昔話を伝えてほしいです。
- ・幼い頃の事を絵本で読み返しながら思い出してみたい
- ・良かった。りゅうぼんも読んでいます。仲程先生の著書も読んでみようと思います。高山先生の共通語（うちなーぐち）を作る案 賛成です。
- ・さまざまな琉歌を耳で聴きあじあうことができ、大変良かった。紙面で紹介される琉歌にも是非音声がつけてほしいと感じている
- ・お2人の講師のお話しとってもよかったです。このような企画を継続して下さい
- ・評価するレベルの人間ではないので割愛させていただきます。去年、5月観客席で「しまくとぅばダメ うちなーぐちといわなければならない」と語っていた高齢の男性がいました。私のまわりにもしまくとぅばは異和感があるという方はいらっしゃいます。今日の高山先生のお話で納得できましたが、、、、

## 5 「誇らしゃしまくとぅば」講演会概要

### 5-1 第14回講演会「久米島ことばで語る芸能」概要

開催日：令和7年1月31日（金）15時～17時

会場：沖縄県立芸術大学芸術文化研究所小講堂

講師：中村一雄氏（聞き手：ハイス・ファン＝デル＝ルベ氏）

#### 講師略歴

中村一雄（なかむら いちお）

1946年久米島町（旧具志川村大田）出身。沖縄県島尻郡具志川村（現島尻郡久米島町）生まれ。

1970年、野村流三線演奏家の野村義雄氏に師事し、琉球古典音楽を始める。

1974年に野村流三線演奏家の知念秀雄氏に師事。

2001年に県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」保持者（県指定無形文化財。2017年まで）、2008年に県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」保持者に認定された。

国指定重要無形文化財（総合認定）では2001年に国指定重要無形文化財（総合認定）「組踊」、2017年に国指定重要無形文化財（総合認定）「琉球舞踊」の保持者となる。2016年より野村流伝統音楽協会会長。2019年国指定重要無形文化財「琉球古典音楽歌三線（野村流）」各個認定（人間国宝）

※本講演会は無観客で開催したため、アンケートは未実施。

### 5-1-1 第14回 誇らしゃしまくとぅば講演会 前舞踊

第1部 前舞踊 「貞女小」

立方 サンデー 宮里 夏佳

三良 池原 輝飛

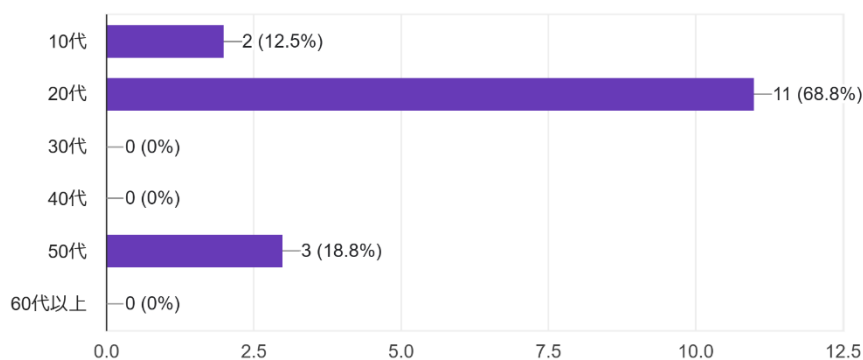
女(妻) 中里 芽生  
アヤー(アンマー) 藤島 弘美  
地謡 三線 津波古孝太  
太鼓 久米ひさ子

## 第14回 誇らしやしまくとうば実践教育アンケート用紙「貞女小」

沖縄県立芸術大学しまくとうば実践教育プログラム開発事業 主催講座

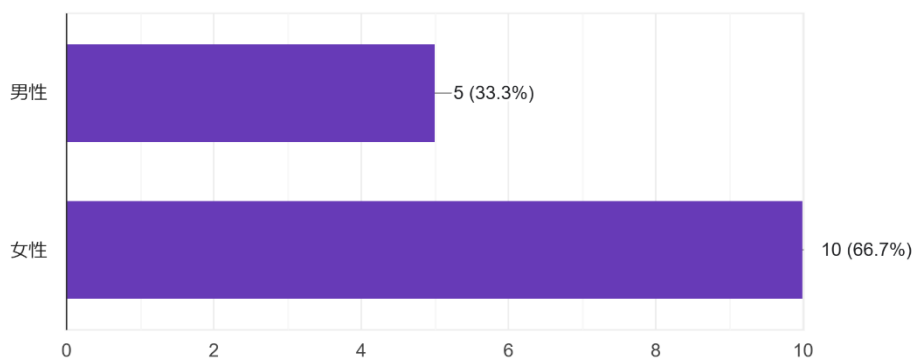
### 1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。①(年齢)

16件の回答



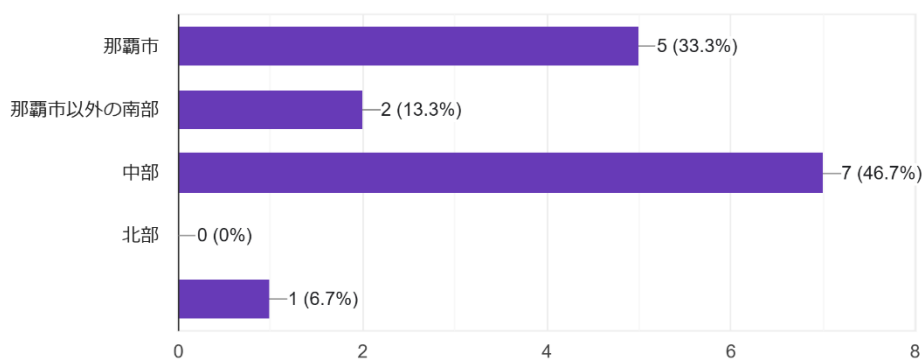
### 1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。②(性別)

15件の回答



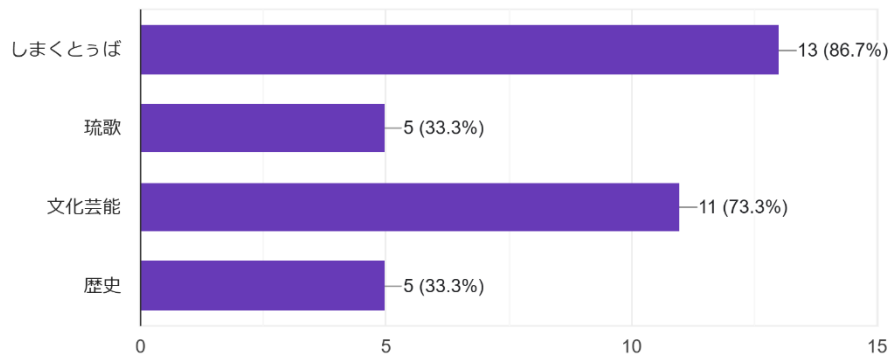
### 1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。③(地域)

15件の回答



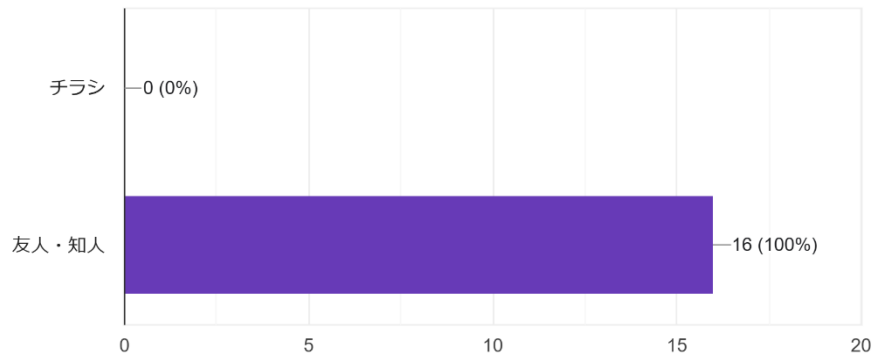
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。④（興味のある内容）

15件の回答



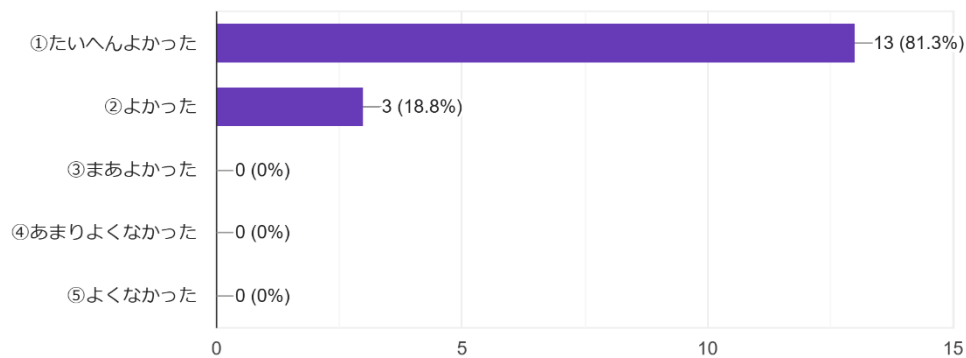
2 この講座をどのようにして知りましたか？該当するのを○で囲んでください。

16件の回答



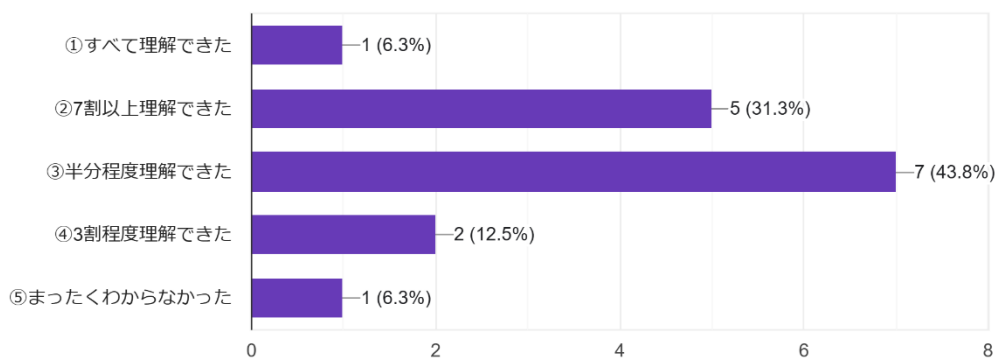
3-(1)本日の琉球芸能専攻学生による「貞女小」の上演はいかがでしたか？

16件の回答



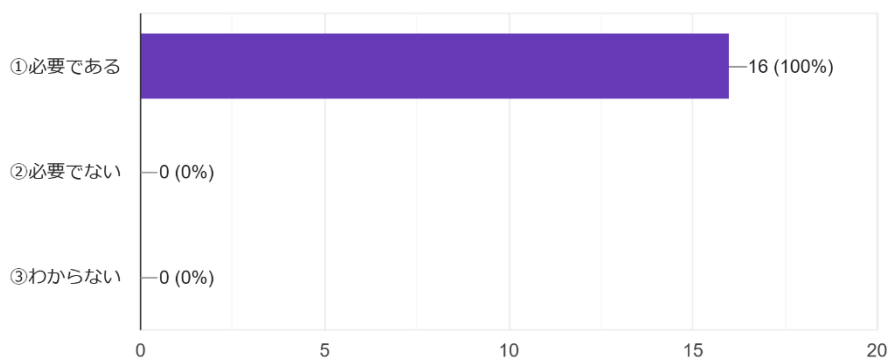
(2) 本日使用されたしまくとうばをどの程度理解できましたか？

16件の回答



4 本学の琉球芸能専攻におけるしまくとうば事業について(1)どのようにお考えでしょうか？

16件の回答



(2) 本事業および今回の講演会についてのご意見や感想、次回への要望などありましたらお書きください。

11件の回答

- ・地謡ではうちなーぐちで演目紹介したい
- ・素敵でした
- ・おもしろかったです
- ・お着物さばきがステキでした。川辺のシーンが好きです。
- ・とても良かったです。
- ・若い世代にしまくとうばを残せるようがんばって下さい。とても素晴らしい舞台でした。
- ・とても良い企画だと思います。これからももっと積極的にこのような機会をつくってほしいです。又もっと周囲にも周知が必要だと思いました。
- ・アンマーとてもかわいかったです。
- ・初めてとは思えないほど上手でした。アンマーが良かった。
- ・大変良かったと思う。毎年観たいです。
- ・次回の講演会も聴いてみたいと思った。

## 5-2 第15回講演会「しまくとぅばで語る芸能人生」概要

第15回 芸能から受け継ぐ「しまくとぅば」

講師：嘉数好子氏

開催日：令和7年2月19日（水）奏楽堂

### 講師略歴

嘉数好子（かかず よしこ）

昭和9年 那覇市若狭に生まれる。

昭和23年 戦後の混乱期13才で星劇団に入団。

以後、演技座（高安六郎座長）やときわ座（真喜志康忠座長）、沖映演劇、沖縄芝居実験劇場等にて幅広く活躍。

平成元年 第五回琉球放送創作芸術祭舞踊部門で、奨励賞受賞。

平成9年 玉城流玉扇泉踊会 会主

平成11年 沖縄県指定無形文化財「琉球歌劇」保持者認定。

平成13年 沖縄タイムス芸術選賞（大賞・演劇部門）

平成28年 沖縄県文化功労者表彰

前舞踊 「稲まづん」

立方 天久 美海、亀谷 滯壮、川上こころ

「汀間当」

立方 鹿股 小夏

地謡 三線 照屋 綺恵、親田 鈴

箏 中村 優希

笛 山城 美帆

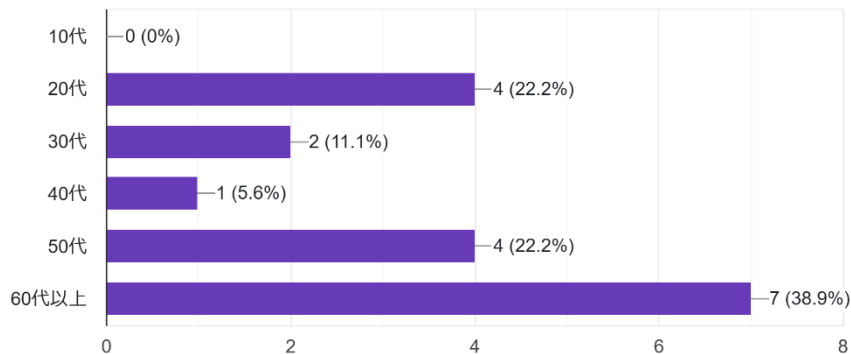
太鼓 徳村 七恵

## 第15回 誇らしやしまくとぅば実践教育プログラム開発事業

芸能から受け継ぐ「誇らしやしまくとぅば」アンケート結果

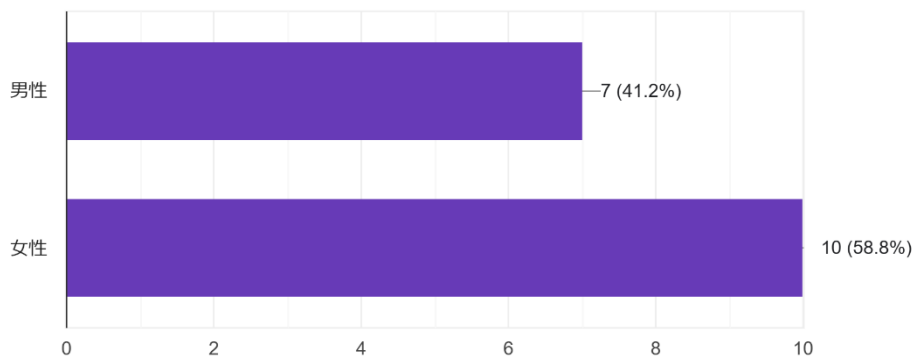
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。①（年齢）

18件の回答



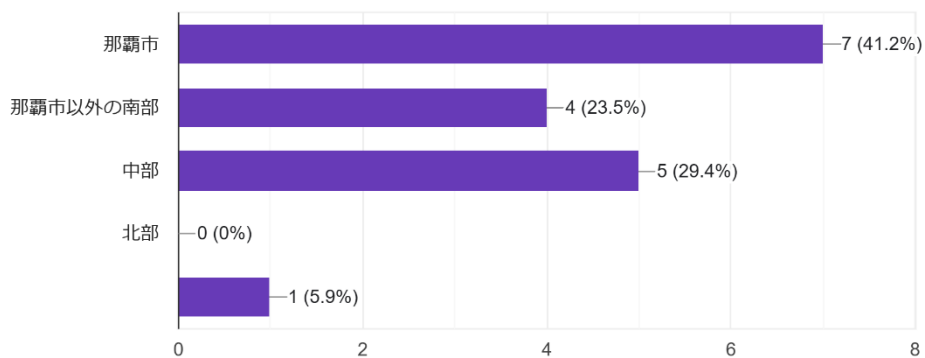
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。②（性別）

17件の回答



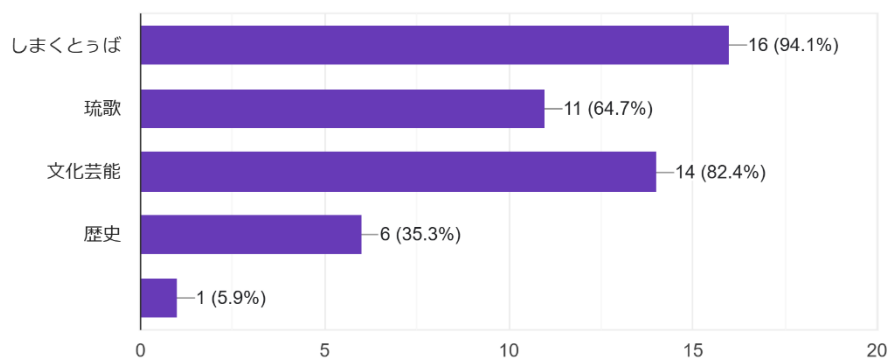
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。③（地域）

17件の回答



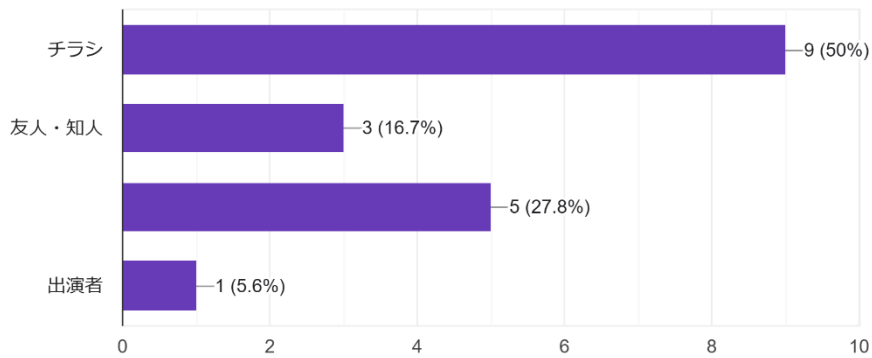
1 あなたについて該当するところを○で囲んでください。④（興味のある内容）

17件の回答



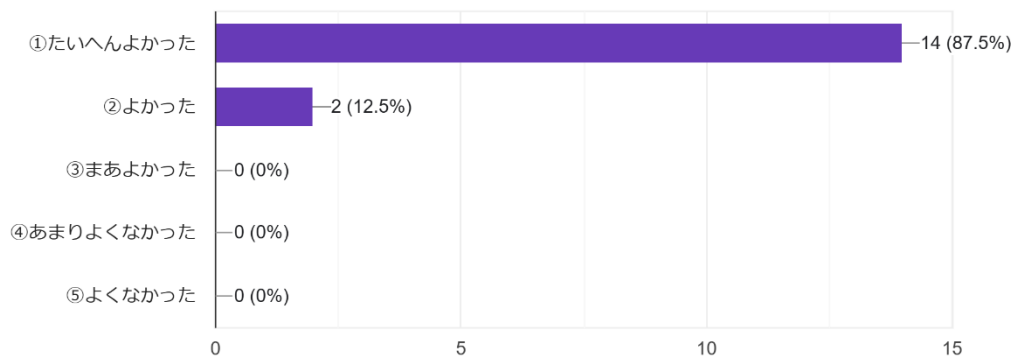
2 この講座をどのようにして知りましたか？該当するのを○で囲んでください。

18件の回答



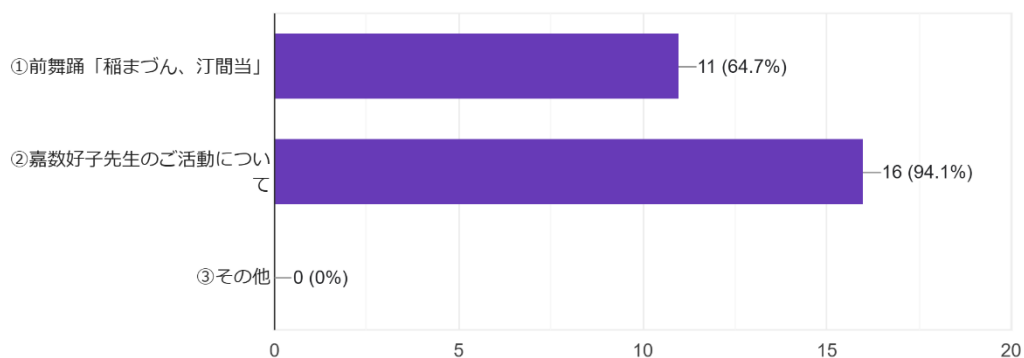
3 今回の講座について該当する番号を○で囲んでください。(1) 本日の講座はいかがでしたか？

16件の回答



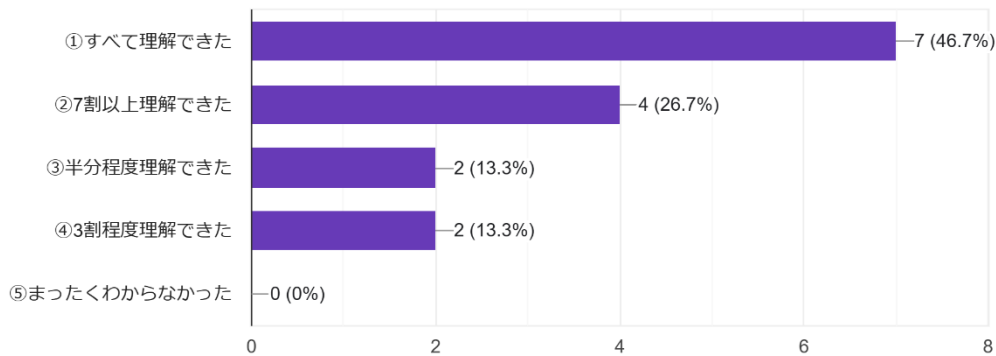
(2) 本日の講演の中で興味・関心があったものを○で囲んでください。

17件の回答



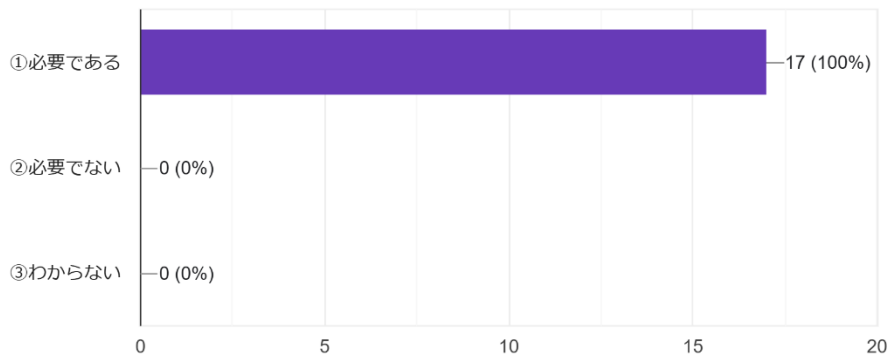
(3) 本日使用されたしまくとうばをどの程度理解できましたか？

15件の回答



4 本学の琉球芸能専攻におけるしまくとうば事業について(1)どのようにお考えでしょうか？

17件の回答



(2) 本事業および今回の講演会についてのご意見や感想、次回への要望などありましたらお書きください。(11件の回答)

- ・沖縄の心・魂であるしまくとうばを継承していく事の大切さを伝えていく活動とても素晴らしく誇らしく思っております。
- ・嘉数好子先生の貴重なお話が聞けて大変嬉しかったです。記録動画を多くの皆さんに見せていただけるといいですね。
- ・このような企画、たびたび是非お願いします
- ・もっと告知して多くの方にきてもらいたいと思いました。
- ・嘉数好子先生について、今回初めて知りました。貴重なお話が聞けて良かったです。(ほぼ方言わからなかったけど)専門分野が全く違うので、このような講座に参加できて大変嬉しいです。ありがとうございます。
- ・すばしかったです
- ・同じ催し物をひんばんにやってほしい
- ・女性の地謡が新鮮だった。古典と雑踊でキーが異なるのも興味深かった。やまとぐちに引かれてしまうので、もう少しコントロールが必要か。ご高齢のためいかしかたないであろうか。

- ・島くとぅばは日常生活では必要性がほとんどなくなっている。芸術文化活動の中でしか必要とされない。そういうなかでなぜ必要なのかの説明が足りないと思う！
- ・質問でしまくとぅばを正しく使っていると思います。以前に授業でしまくとぅばを研究のせいだと思います。これからも頑張ってください。ありがとうございました。
- ・先生の芝居、踊りの映像などプロジェクターでみたい。その話などききたかった。

## 6 次年度への展望について

今年度は新型コロナウイルス流行前と同じ規模での事業遂行の年となった。前期・後期と開催した特別講師を招いての実践授業や「誇らしゃしまくとぅば講演会」では、感染症対策も最小限となり、運営し易い状況となった一方で、講演会への参加や周知（告知）についてはコロナ禍のプランクが感じられるような感が否めなかった。また、参加者からも人混みに対して少しの懸念があるように思えた。

そのような状況ではあったが、年度初めにはハワイ大学名誉教授の聖田京子先生を招いて「聖田京子ユンタク会」を開催した。先生からは言語教育の方法と、先生自身が手がけるハワイ（オアフ島）におけるしまくとぅば普及活動についてユンタクをしていただいた。「ユンタク会」として参加者を50名以内に限定し、会場内で参加者と聖田先生と活発に意見交換（ユンタク）することを目的としたが、思惑通りに運営できた。また、本イベントではひめゆり平和祈念財団理事で、琉球・沖縄文学研究者の仲程昌徳先生をお招きして、ハワイにおける琉歌の創作やその通史を講演いただいた。沖縄を離れた地域において、今もなお継続的にしまくとぅば文化に熱心なハワイの姿を参加者へ学んでいただく良い機会となった。

「誇らしゃしまくとぅば講演会」では、今回初めて沖縄本島のしまくとぅばではなく、久米島ことばの話者である中村一雄氏にご登壇いただいた。聞き手は言語研究者で久米島の言語を研究なさっているハイス・ファン・デル＝ルベ氏に依頼した。本事業ではこれまで沖縄本島を中心としたしまくとぅばでの芸談を紹介していたが、今後はこのように周辺離島、先島地域のことばでの開催も今後の展望として視野に入れて活動していきたい。また、もう一方の嘉数好子氏からは戦後沖縄芝居における貴重な話を伺える良い機会となった。これらの文字起こしデータは次年度以降に前年度の講演会記録とともに発表したい。

実践教育の部門では、地謡実技の実践教育プログラムが未実施となった。非常に残念であるが、毎年本学に入学してくる学生に応じて開催計画を立てているので、次年度以降は開催となるよう、今年度末から次年度に向けて調整しているところである。その一方で組踊実技については、嘉数道彦准教授による実践授業が行われ、阿嘉修准教授との協働での授業展開が生まれている。次年度以降もこの状況を継続していきたい。

（文責：鈴木耕太）

ていーち! Teach!!



しまくとぅば 31

おきなわ はる  
沖縄の春

# ウリズンの季節の植物

すずき こうた  
鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

4月は進学や進級など、新しい環境でこれからの1年に多くの夢や期待を寄せる季節です。それと共に沖縄では短い「春」がやって来ました。この時季はしまくとぅばでは「ハル」とは言わず、「ウリズン」と呼ぶ時季で、1年で一番過ごしやすい季節です。また「ハル」は実際の季節ではあまり用いず、琉歌や組踊など、文芸の世界で使われる言葉です。

さて、真外で春といえば「桜」がキーワードになります。この時季は毎年、ニュースでソメイヨシノの開花宣言や、「桜前線」が話題になります。沖縄では1月末にヒカンザクラが咲き、桜祭りが終わると、ツツジが咲きます。2月にはツツジ祭りが開かれ、「日本の春」とはだいぶ異なります。では、沖縄の入学・進級シーズンであるウリズンの季節は、一体どのような植物が見られるのでしょうか。



## クバやイジュの花咲く

花についていえば、この時季はクバがやや黄色みがかった花を咲かせています。クバは沖縄の民具にその葉が多く用いられ、古くから神木として大切にされてきた植物です。ヤシ科の植物で、現在では国道沿いにも植樹され、見かけることができます。

また、クワディーサーの木はこの時季、古い葉を全て落とし、新たな若葉が出ています。花ではありませんが、一斉に空に向かって開く、柔らかな緑色の若葉は、青空に映えて美しいで

す。広く枝を広げて木陰を作るので、学校の校庭や公園、海辺によく植えられていて、わりと目にすることができます。

もう少しすると、テップウユリやサンニンの白い花も咲きます。この二つは香りも良く、花の近くでは甘い香りが漂います。

そして4月菜ごろ、沖縄本島北部地域を中心に、イジュの花が咲きます。イジュの花は昔か

ら琉歌に詠まれるほど琉球では古くから春から夏にかけての代表的な花でした。やんばるの緑の森に白い花が散りばめられて、深い緑と鮮やかな白い花のコントラストが美しく、まさにウリズンの季節を象徴する花といえるでしょう。

沖縄は南国のイメージが強い場所ですが、自然に目を向けると、小さなところに「季節」を感じることができます。

### 問題

しまくとぅばの植物の名前、分かるかな?

- ① ティンサグ ② アカバナ
- ③ サンニン ④ 7バ
- ⑤ クワディーサー

### いくつできたかな?

- 五つ分かった! ▶ 「うしゅがなし」 レベル★★★★★
- 四つできたよ! ▶ 「うえーかた」 レベル★★★★
- 三つ〜! ▶ 「べーちゃん」 レベル★★★
- 二つだけ ▶ 「さどろなし」 レベル★★
- 一つ ▶ 「にや」 レベル★

424333⑤ 40202 4144④

44444 242211② 44444④: 75

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

毎週日曜日発行

琉球新報小中学生新聞



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



ハワイ移民としまくとぅば

# 琉歌つくり 沖縄文化継承

鈴木 耕太

おきなわけんりつげいじゆつたいがくせいゆんきやうじゆ  
(沖縄県立芸術大学 准教授)

日本で一番南に位置する沖縄は、「観光」がリーディング産業として位置付けられ、皆さんの回りでも観光業に従事している大人たちが多くいると思います。沖縄は、同じような気候のハワイを観光のモデルとし、復帰前から観光産業に取り組んできました。

沖縄とハワイは気候が似ているだけでなく、実は深いつながりがあるのです。それは「移民」です。今から124年前の1900年、沖縄からハワイに移民した26人はオアフ島に上陸し、サトウキビ農園で働き始めました。ハワイ移民の始まりです。ハワイに渡ったウチナンチュたちは、心の中にいつも沖縄を思い、沖縄が苦しい時には支援することもありました。毎年9月



## 大学で科目も設立

には「オキナワン・フェスティバル」を開いて、沖縄の食文化や伝統芸能などを紹介し、県系入の交流を深めています。

ハワイでは、戦前から新聞に琉歌が掲載されたり、沖縄独特の文化などが紹介されたりしました。戦後は、県系1世たちを中心に琉歌が創作され、新聞で発表されてきました。

80年代には「ハワイ琉歌会」が設立され、琉歌会のメンバーによる琉歌が新聞に毎月掲載されるようになります。その後、「ハワイ琉歌会」は琉歌を一首以上も創作しました。「本流布哇琉歌会」も設立され、多くの琉歌が創作されました。

琉歌には、ダイヤモンドヘッドやブルメリアなど、ハワイの景色が詠み込まれているものもあります。不思議と琉歌のリズムに合わせて

シーサーさんたちが話した  
しまくとぅばの意味は分かるかな?

分かった人は  
うしゅがなし  
レベル ★★★★★

も、沖縄と気候が似ているからなのかマッチしているように感じます。

ハワイ大学では2004年、日本語教育の聖田京子先生が担当となって、学生に沖縄の文化と言葉(しまくとぅば)を教える科目「沖縄の言語と文化」が開設されました。この科目では、簡単なしまくとぅばの会話や沖縄の伝統や食文化、芸能などを学び、聖田先生が10年に同大を退職しても、変わらず学生たちは学んでいます。聖田先生は現在、ハワイ移住者が沖縄文化を学ぶ「がじまる会」のメンバーと共に、琉歌を創作する活動を続けています。今月15日には聖田先生を交えての「ユンタク会」を県立芸大で開きます。

ハワイ在住の沖縄にルーツを持つウチナンチュは、琉歌を作ることで「しまくとぅば」に触れる機会を増やし、言葉と文化を次世代に伝えていく思いを実践しています。私たちの沖縄でも同じような活動が恩納村や南城市などで実施されていますが、ハワイに負けずに沖縄全土で琉歌や地域のウタ(先島地域のウタなど)を残すための創作活動を積極的に実施していきたいですね。

次回からは連続してこの紙面で「琉歌」について紹介して、学んでいきたいと思ひます。一緒に楽しく学んでいきましょう。

© 2024 琉球新報社

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

琉球新報小中学生新聞

毎週週刊 100円

**りゅうPON!**

琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局  
☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



琉歌は生活の中に

教訓や気持ち語り継ぐ

鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

琉歌は、奄美大島から与那国島まで、各島々に伝わっています...

2024年度の全国交通安全年間スローガンの「こどもの部」で内閣総理大臣賞を受賞した作品は、「わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり」でした...

親心や交通標語も

実は琉歌も俳句などと同じく、言葉の持つリズムがあります。琉歌の場合は8・8・8・6の30音で構成されています...

「車世ぬ世界に あわていらんぐとうに 右左見やい 我身ゆ守り」。意味は「車社会では慌てずに左右を確認して、事故から自分自身を守りましょう」というものです...

さて、このような標語の他に、沖縄では教訓も琉歌で表現されています。たくさんある教訓を詠んだ琉歌の中でも、皆さんのよく知っているもの...



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

問題

- Q1. イラストの琉歌の題名はなんでしょう
Q2. イラストの琉歌(歌詞)の意味をしらべてみよう
Q3. 琉歌の8・8・8・6の通称は

いくつできたかな?

三つ分かった! 「うしゅがなし」 レベル★★★★★
二つ〜! 「ペーちゃん」 レベル★★★
一つ 「にや」 レベル★

るものでは「ていんさぐぬ花」が挙げられるでしょう。この歌の歌詞は親の教訓を忘れずに心に留めることや、親は子どものことを大切に守っていることなどが語られています...

このように見渡してみると、琉歌は私たちの生活の中に必ず隠れているものです。今でも手紙を送る時に、最後に一首、琉歌を添えて送る人もいますし、日常の出来事や思ったことを琉

歌にして新聞に投稿する人もいます。また、市町村では琉歌を一般から広く募集して、秀作を選ぶ「琉歌大賞」も開催されています。このコラムでは次回以降、琉歌の作り方についてもお話ししていきたいと思っています...

「歌ぬ道学でい 昔から今に 情肝心 語てい行かな」。琉歌を学んで昔から今に伝わる沖縄の心や思い、感情を語り伝えていきましょう。

琉球新報小中学生新聞

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業

(第2週掲載)



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



りゅう か つく 琉歌を作ってみよう

# 8・8・8・6音で構成

鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

前は琉歌が私たちの生活文化に強く結びついていることを紹介しました。今回は、実際に琉歌を作るための方法を紹介しましょう。

まず、琉歌は決まった形式を持っている「ウタ」です。文学的には琉歌のことを「短詩形歌謡」といいます。「短い詩形のウタ」という意味です。琉歌には決まった形式があって、基本的には8・8・8・6音の音数律で構成されています。右下の例を見てみましょう。



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

## 心地よいリズム

「ていんさぐめ花」は、沖縄のわらべ歌として知られていますが、歌詞は琉歌になっています。「よみ」を見ると分かるように、音は8音が3つと6音が1つあります。そして、もう1つ重要なことがあります。それは8音は5音と3音、6音は3音と3音がくっついてそれぞれの音数を作っています。例えば「ディンサグメ ハナヤ」は5音の「ディンサグメ」と3音の「ハナヤ」で、「ウヤヌ ユシグトウヤ」は3音の「ウヤヌ」と5音の「ユシグトウヤ」で構成されています。6音の「チムニ スミリ」はそれぞれ3音ずつがくっついて構成されています。この3音と5音の構成はどの琉歌にも当てはまります。なぜ、3音と5音なのかは分かりませんが、このリズムは、琉球の人々の心地よい音のリズムであることに間違いありません。

琉歌を創作する時には、3音と5音に気をつけることを心がけましょう。また、初めて琉歌を創作する時に、琉歌のことば(昔の沖縄の書き言葉)で表現するのは難しいので、日本語で

**問題**  
今回の問題は「琉歌を詠む!」。皆さんの日常で思うこと、感じたことを琉歌にしてみましょう。琉歌独特の心地よい音のリズムにのせて、まずは日本語で挑戦してください。

**詠めた人は**  
「うしゅがなし」  
レベル ★★★★★

「ていんさぐめ花」	よみ	意味
ティンサグメ花や	1 2 3 4 5 6 7 8 ディンサグメ ハナヤ	ハウセンカの花は
爪先に染めて	1 2 3 4 5 6 7 8 ツイミサチニ スミティ	爪先に染めて
親の寄言や	1 2 3 4 5 6 7 8 ウヤヌ ユシグトウヤ	親が(私に)寄せる言葉は
肝に染めれ	1 2 3 4 5 6 チムニ スミリ	心に染めなさい

琉歌を作っても構いません。ただし、8音の部分は3音と5音で作ることを意識しましょう。例えば、日本語で「沖縄の夏の自然」を琉歌で詠むと次のようになるでしょう。

「見渡せば空も 海も一色の 青に包まれる夏の沖縄」  
今年の夏休みは、自由研究で琉歌を作ってみるのも面白いかもしれません!

琉球新報小中学生新聞

琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

てーち! Teach!!



「かりゆし」の意味

縁起良く日常に浸透

新垣 俊道

(沖縄県立芸術大学准教授)

「かりゆし」という言葉を知っていますか？「アンマー」の曲で有名なロックバンド「かりゆし58」を思い浮かべる人もい... 広く県民に浸透しているのが「かりゆしウエア」ではないでしょうか。日常生活でよく自にする「かりゆし」は、どのような意味があるのでしょうか。

「かりゆし」は「縁起の良い事」「めでたい事」という意味で、漢字では「嘉例吉」と表記され、音韻変化をして「かりゆし」と発音されます。

「嘉例吉」の「嘉例」には、「めでたい先例」という意味もあります。結婚式など「祝儀事」の乾杯では、沖縄風に「カーリ」「カーリサビラ」と唱和されることもあります。お祝いをして「吉(良)き結果がうまれる事」を「カーリキキヤ」と言いますが、まさに祝儀事で唱和される「カーリ」は打ってつけの言葉です。近年、祝儀事は「かりゆしウエア」を着用して参加する人が増えていますが、まさに縁起の良い「かりゆし」づくしといえるのではないのでしょうか。

琉歌でも多く使用

「かりゆし」という言葉は、琉歌でも多く使用されています。右上の表は「かりゆし」が使用されている最も有名な琉歌です。第一句の「遊び」とは、現代のように公園で友人と遊ぶのではなく、歌三線や踊りなどを楽しむ事、または豊年祭など仕事を休んで行われる娯楽を指しています。第二句の「うちはれてからや」とは、天候の「晴れ上がる」という意味もありますが、ここでは「遠慮なく思う存分楽しむ」という意味で、お祝いを楽しむ人々の様子が描かれています。

祝儀事の締めは老若男女がそろって即興で踊



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

Table with 3 columns: 琉歌 (Ryūka), よみ (Yomi), 意味 (Imi). It lists the lyrics of 'Kariyushi no Asobi' and their meanings.

問題 (Problem) section: 「かりゆし」を使って自作の琉歌を詠んでみましょう。では、私も一首 「人々が集う かりゆしの宴 歓喜する歌が 天に響く」

詠めた人は (Who wrote it) section: 「うしゅがなし」 レベル ★★★★★

る「カチャーシー」でしょう。「かりゆしの遊び」の琉歌も、カチャーシーの音曲である「唐船ドーイ」に乗せてよく歌われます。そして「夜ぬ明きて太陽ぬ 上がらんゆたしゃ 巳午時までいや 御祝しゃびら(夜が明けて 太陽が出てもかまわない。お昼ごろまでお祝いしましょう)」と続けて歌われ、大いに祝儀事を楽しむのです。しかし、祝儀事はずっと続く訳ではなく、翌日にはそれぞれの日常に戻ります。

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業 (第2週掲載)

琉球新報小中学生新聞 毎週日曜日発行 琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!

# しまくとぅば 36

## 検定の琉歌の問題に挑戦

### 文化見つめる機会に

西岡 敏 (沖縄国際大学教授)

今回は、これまでに「しまくとぅば検定」に出題された「琉歌」の設問を取り上げます。皆さんと一緒に正解を考えてみましょう。

「しまくとぅば検定」の沖縄中南部言葉編では、2022年度まで級別(5～9級)の試験を実施していました。23年度からは全体一括で試験をし、成績によりA～Cレベルに「しまくとぅば」の習得レベルをランク分けしています。「しまくとぅば検定」でも、「琉歌」は近年、毎年のように出題されていますので紹介します。

はじめに2021年度5級「読んで答える問題」からです。

次の琉歌について後の問いに答えましょう。  
ていんさぐぬ はなや ( A ) に  
すみてい うやぬ ゆしぐとぅや ちむに  
( B ) 【一つ2点】

(ホウセンカの花は爪先に染めて 親の教えは肝に染めなさい)

( A ) と ( B ) に入るしまくとぅばをひらがなで入れる問題です。正解はA「ちみさち」とB「すみり」です。「つめさき(爪先)」と「ちみさち」(沖縄中南部言葉)の、「つ」と「ち」、「め」と「み」、「き」と「ち」が対応しています。また、命令形「すみり」は、「そめろ」ではなく、「そめれ(some re・染めれ)」が三母音化して、「すみり(sumiri)」となっています。「そめろ」だと「すみり」になりますよね(なお、「すみ



磨ち磨ちゅりば 無らんならん!

イラスト サイトウカナエ(イラスト沖縄)

る」は宮古言葉の命令形)。

次は、23年度の問題を見てみましょう。

「読んで答える問題」一部抜粋

次の琉歌について後の問いに答えましょう。

ゆる はらす ふにや ( C ) ぶし  
みあてい わん ( D ) うやや わ  
んどう みあてい 【一つ2点】  
(夜走らせる船は北極星が目標であり、私を産んだ親は私が自当である)

( C ) と ( D ) に入るしまくとぅばを4択から選ぶ問題です。選択肢は次のとおり。

- ( C ) ①とらぬふあ ②つんまぬふあ
- ③にぬふあ ④とぅいぬふあ
- ( D ) ①なちえる ②なちゃん ③なさん
- ④なちゆる

正解はCが③、Dが①です。選択肢から選ぶので、5級で出題されていた時よりも易しいかもしれません。Cの正解の「にぬふあ」は、干支の「子」(北)の方角、すなわち「ねのはう」から「にぬふあ」になりました。Dの正解の「なちえる」は、形の上では「なして(は)ある」に対応しますが、訳では「産んだ」となっていて、意味の違いが面白いですね。

今年も12月にしまくとぅば検定(沖縄中南部言葉)があります。琉球固有の文化を見つめ直す良い機会として、受験してみるのはいかがでしょうか。

結びに、読者の皆さんに琉歌を一首お届けしましょう。

「美ら島ぬ宝 玉ぬしまくとぅば 磨ち磨ちゅりば 無らんならん」。美ら島の大切なしまくとぅばを学び続けなければ無くなることはありません。

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業 (第2週掲載)

**問題** 今回の問題は、例題として解説した琉歌「ていんさぐぬ花」2番の歌詞です。漢字①～⑤の「しまくとぅば読み」を考えてみましょう。

♪天①め 群星②や 読③みば  
読④まりしが 親④ぬ ゆし言⑤や  
読③みや ならん

(訳) 天空に群がる星は 数えようと思えば数えられても 親の教えは数え切れないものだ

左の問題いくつできたかな?

五つ全部できた!

- ▶「うしゅがなし」レベル★★★★★
- ▶「うえーがた」レベル★★★★★
- ▶「べーちゃん」レベル★★★★
- ▶「さどぬめし」レベル★★★
- ▶「にや」レベル★

㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

てーち! Teach!!

# しまくとぅば 37

## 日本語の歌を琉歌に

鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

### 独特な母音「アイウイウ」

今回は琉歌を学び、親しみ、創作していきましょう。琉歌を作る時の基本である音数律(8・8・8・6)、そして各句の音数律である3音と5音に気をつけながら創作することが必要です。

沖縄の秋をテーマに日本語で琉歌を作ってみましょう。沖縄の秋といえば中秋の名月、旧暦8月15日に実施される十五夜行事(豊年祭)で、満月の下で踊る獅子を題材にしてみましょう。

十五夜の月に 照らされる獅子も 秋の風受けて 笑うようだ

次はしまくとぅばに直訳してみましょう。

十五夜ぬ御月 獅子ん照りましてい 秋ぬ涼風に 笑てい居るさ

### たんごよみじか 単語の読み短く

例えば、「十五夜」「獅子」「秋」などは日本語でもしまくとぅばでも同じ表現で、読み方が日本語は「じゅうごや」と5母音(アイウエオ)ですが、しまくとぅばだと「ジューグヤ」と3母音(アイウイウ エーイ、オーウ)になります。表現として変えたのは3句目の「秋の風受けて」が「秋ぬ涼風に」です。「秋の風」は涼しい風ですから、琉歌に用いられる「涼風」と訳してみました。この3句目は「風」を「受ける」という表現を残して訳するならば、「涼風ゆ受きてい」とすることもできるでしょう。どちらの訳が良いかは個人の判断になりますが、日本語の歌の時よりグッと琉歌に近づいたのではないのでしょうか。



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

#### 問題

次の言葉を3母音で読んでみよう!

- ① 沖縄
- ② 三線
- ③ 晴れ
- ④ 踊り
- ⑤ 黄金言葉

#### 左の問題いくつできたかな?

五つ全部できた!

「うしゅがなし」

レベル

★★★★★

四つ「うそかた」レベル★★★★

三つ「べーちゃん」レベル★★★

二つ「さとらめし」レベル★★

一つだけ「にや」レベル★

さらに琉歌風にすると次のようになります。  
涼風に心 打ち晴れて遊ぶ 獅子ぬ顔照らす 十五夜御月

この琉歌では十五夜の月を最後の4句目に持ってきて、「秋の涼しい風を受けて舞う獅子がまるで遊んでいるようだ」「その獅子の顔を照らしているのは十五夜のお月様である」にしました。さらに琉歌っぽくなりましたか?

ここで琉歌の面白いところを紹介しましょう。日本語、直訳風の琉歌では、1句目の8音のところ「十五夜ぬ御月(ジューグヤヌツ

イチ)」と入れました。しかし、2回目に訳した琉歌では4句目、つまり6音に「十五夜御月(ジューグヤウツイチ)」と入れました。8音の時は、「十五夜」は「ジューグヤ」と4音と発音していますが、6音にすると「ジューグヤ」と3音になっています。これは、琉歌を読む時には、その音数律に合わせるため、「ジューグヤ」のように伸ばす音(引き音)がある単語は、その伸ばす音を読まず、縮めて読むという決まりがあるのです。

琉歌は、日本語と同じ単語も多くあります。短く読むことで琉歌らしく表現することができますよ。



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



琉歌の味わい「組踊編」

# せりふは8・8・8・6調

阿嘉修、嘉数道彦

(沖縄県立芸術大学准教授)

はいさいグス〜ヨ〜、今日うがなびら(皆さんこんにちは、ご機嫌いかがでしょうか)。皆さんは「組踊(クミ・ヲドゥイ)」を見たことがありますか? 「組踊」は、琉球王国時代に中国皇帝の使者として琉球国にやって来た「冊封使」を歓迎するために演じられた歌舞劇です。登場する人物が発するせりふは基本、琉歌のスタイル(8・8・8・6調)でつづられているのが特徴です。

今回は、組踊の創始者・玉城朝薫がつくった「女物狂(メナモノキヤウ)」の一場面を紹介しましょう。誘拐した子どもを地方に売って生活をしている人盗(ヒトスライ)と、子どもを誘拐され嘆き悲しむお母さんの二人を軸に物語が展開します。冒頭、人盗の悪いオジサンが登場し、風車で遊んでいる子どもを見つけ、気を引こうと人形を見せながら、次の琉歌をアカペラで歌いあげる場面があります。



イラスト サイトウカナエ(イラスト沖縄)

## メロディーに乗せ歌う

「四月がなりば 梯梧の花咲きゆり 暗さある山も あかくなゆさ(シングァツィガナリバ ディグヌハナサチュイ クラサルヤマン アカクナユサ)」(四月になれば梯梧の花が咲く、暗くなった山も明るくなり見事だ)

沖縄県の県花でもあるデイゴの花が、山一面に美しく真っ赤に咲き誇った、春うらかな風景をイメージさせる琉歌です。人盗の悪いオジサンには、似合わない美しい歌ですね。

この琉歌を「シーヤーブー・ミーミンメー・ヒージンとー」などのやさしい言葉が印象的な、わらべ唄「しいやあぼう節」のメロディーに乗

**問題**  
皆さんも自作の琉歌を詠んで、メロディーに乗せて思いを伝えてみましょう。

詠んで歌えた人は  
**「うしゅがなし」**  
レベル★★★★★

せ、優しいオジサンのふりをしながら楽しく歌いあげると、つい子どもも心を許してしまい、ウキウキと人盗について行ってしまいました。子どもを誘拐するための作戦は、大成功。自分の思いや考えを8・8・8・6の琉歌のスタイルで作って、好きな曲に乗せて歌ってみると、聞いている人の心に案外強く響くかもしれませんよ。

何はともあれ、琉球王国時代にも人盗がいたのですね! よいこの皆さん、知らないオ

ジサンに「お菓子やオモチャをあげる」と言われても、ついて行ってはいけませんよ!

さあ組踊「女物狂」の続きが気になった人は劇場んかい 組踊ん〜じ〜が いめんしえ〜びり(劇場に組踊を見にいらしてくださいね)。

最後に、私から皆さんへ琉歌で思いを伝えさせてみてください。

「昔から今に 沖縄の宝 組踊ん〜じ〜がいめんしえ〜びり」

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業 (第2週掲載)

琉球新報小中学生新聞  
**りゅうPON!**  
琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。  
問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

てーち! Teach!!



39

めい さくりゅう か 名作琉歌をまねしてみよう

鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

# 上句に風景、下句に気持ち

今回は、有名な琉歌がどのように詠まれているかについて学び、それをまねて創作してみましょう。

これまでの復習ですが、琉歌を作る時の基本である音数律(8・8・8・6)、そして各句の音数律である3音と5音に気をつけながら創作すること、さらに琉歌を詠む時にはその音数律に合わせるため、「十五夜(ジューグヤ)」のように伸ばす音(引き音)がある単語は、伸ばす音を読まず、「ジューグヤ」と縮めて読むという決まりがあります。このような基本を踏まえて、名作琉歌の表現を見ていきましょう。

## 対比させ地域表現

- ① 恩納岳ぬふてい 押し下い見りば  
恩納美童ぬ 手振り清らさ
- ② 浦々ぬ深さ 名護浦ぬ深さ  
名護ぬ美童ぬ 思い深さ
- ③ 謝敷板干瀬に 打ちゃい引く波ぬ  
謝敷美童ぬ 自笑い歯茎

①～③の歌は、三つの共通点があります。一つは「地名」が詠み込まれていること、もう一つはその地域の「美童」、つまり「地域の娘」が詠まれています。二つの共通点以外はなかなか気づけませんが、三つ目の共通点があるので。今回はその共通点について考えましょう。

それは琉歌の上句と下句に分けてみると気がつきます。琉歌は「8・8・8・6」の4句に分かれています。最初の「8・8」を上句、次の「8・6」を下句に分けることができます。①～③の琉歌の上句と下句のつながりは次のようになります。



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

**問題** ○○には皆さんの住んでいる地名を入れて詠んでみましょう。そして下句を選んでみたり、創作したりしてみましょう。

上句 深く澄み渡る ○○(地名)ぬ空や  
下句 ○○(地名)童達の 肝の深さ  
○○(地名)美童の 情き深さ

詠んで歌えた人は

「うしゅがなし」

レベル ★★★★★

- ① 恩納岳ぬふてい 押し下い見りば (恩納岳に登って、下の方を見ると) → 美童の様子
- ② 浦々ぬ深さ 名護浦ぬ深さ (海岸線の深さ、名護湾の深さ) → 美童の様子
- ③ 謝敷板干瀬に 打ちゃい引く波ぬ (謝敷のサンゴ礁海岸に寄せては引く波の) → 美童の様子

①～③の琉歌は、上句である地域の有名な情景や風物を、下句ではその地域の若い娘の様子を詠み込む、という構造になっていることが分かります。このように上句と下句を対比させた琉歌が多くあり、今でも地域で愛されているのです。琉歌を詠む時に、上句に風景を入れ、下句で地域や気持ちを詠むことで、グッと雰囲気が変わっていきます。例として青い沖縄の空を上句に詠んで作ってみます。○○には皆さんの住んでいる地名を入れましょう。そして下句を選んでみたり、創作したりしてみましょう。

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業 (第2週掲載)

琉球新報小中学生新聞

毎週日曜日発行

**りゅうPON!**

琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

てぃーち! Teach!!



琉球歌劇を見よう

# 琉歌で演じる沖縄版オペラ

比嘉 いずみ

(沖縄県立芸術大学教授)

「いい正月で一びる」。2025年巳年の新しい年が始まりました。

「新玉ぬ年に 炭と昆布飾てい 心から姿若くなゆさ」

この琉歌は「新年を迎えるにあたり、縁起物の炭と昆布を飾って、新しい爽やかな気を招き入れ、身も心も若返りましょう」という歌詞の内容です。新春の宴や、事始めの行事では、カリー(おめでたい)づけの縁起歌として、「かきやで風節」に乗せて歌われる琉歌の一つです。今回は、琉歌が多く使われる「琉球歌劇」について紹介します。

## 風景に思い重ね

沖縄の伝統的な舞台芸能には、「組踊」「琉球舞踊」のほかに、「琉球歌劇」があります。

「琉球歌劇」は、地謡の音楽にあわせて、舞踊、歌、セリフ、所作で構成されており、沖縄版オペラともいわれています。表情豊かに演じられる役者の感情表現や動き、それを引き立てる歌三線の音楽、さらに琉球王国時代を描いた背景幕は、視覚的にも分かりやすく、昔へタイムスリップした感覚になるほど、観客を舞台の世界へと引き込んでいく魅力があります。娯楽の少なかった戦後の時代は、芝居小屋や劇場で演じられた「琉球歌劇」を見て、泣いたり笑ったりして舞台を楽しみ、日々の活力をもらったようです。

琉球歌劇の代表作である「中城情話」(親泊興照作)は、劇中に有名な琉歌があります。首里士族の里之子が村の娘に一目ぼれをして、恋心を歌で伝えます。それに対して娘は、「思ゆらば里前 島とうめていもり 島や中城 花



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

**問題** イラストに書かれた琉歌は「中城情話」の名シーンだよ。「里之子」が娘の心を動かした歌の『下句』を読み解いてみよう。

「神ね偽ていん 無蔵に偽ゆみ  
(神に偽っても あなたを偽ることはありません)  
くぬ世からあぬ世 ままになゆさ」

解けた人は

「うしゅがなし」  
レベル ★★★★★



ぬ伊舎堂) (私のことを思ってくださいのならば、私の住んでいるところへ訪ねてきてください、村は中城の花が美しい伊舎堂です)と、つらねて返事をするのです。

8・8・8・6で自然豊かな美しい伊舎堂の風景と素朴な娘の気持ちがぎゅっと詰まったこの琉歌は、多くを語らずして相手に気持ちを伝える名場面でもあり、観客も口ずさむほどとても親しまれた歌です(中城村伊舎堂農村公園に

は、この琉歌の石碑もあります)。

皆さんもぜひ、沖縄版オペラ「琉球歌劇」を鑑賞して、昔の沖縄の生活の様子や風景を楽しみながら、役者の演じる肝心(真心)や志情(情け深さ)を感じて、チムドンドンしてみてください。

県立芸術大学の学生らが演じた「中城情話」を右のQRコードから視聴することができます。



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

ていーち! Teach!!



りゅうか い か 琉歌を言い換えてみよう

別の表現で世界変わる

鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

今回はまねて創作し、まねた部分をさらに別の言葉や表現で言い換えることにチャレンジしましょう。参考とする琉歌は次の作品です。

恩納岳ぬぶてい 押し下い見りば  
恩納美童ぬ 手振り清らさ

まねから新しい作品に

この作品をまねて、次の空欄に「方角」や「地名」や「風景」を入れて作ってみます。

恩納岳ぬぶてい 「 」見りば  
「 」美童ぬ 手振り清らさ

例1

恩納岳ぬぶてい 「東表」見りば  
「金武」ぬ美童ぬ 手振り清らさ

例1では恩納岳から見る方角を変えて、見えてくる地域を詠み込み、新たな作品に仕上げました。少しの変化で歌が表現する世界が変わります。

次は上句の「ぬぶてい」と「見りば」、さらに下句の「清らさ」を残して、その他の部分に変更を加えてみましょう。

例2

「於茂登岳」ぬぶてい  
「南眺み」見りば  
「とぅりぬ島々ぬ」 浮かぶ清らさ

例2では登る山の場所を変え、そこから見える風景について歌っています。石垣島から見える竹富島や西表島が、ないでいる美しい海に浮



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

問題 方角の東西南北をそれぞれしまくとぅばで何と読むかな?

左の問題いくつできたかな? 四つ分かった! ▶「うしゅがなし」レベル★★★★★

かぶように見える情景が歌われています。最後は「ぬぶてい」だけを残して創作した作品を見ていきましょう。

例3

「八重岳」にぬぶてい  
「寒桜眺み 立ち戻る涯ぬ 無蔵が姿」

この例ではちょうどヒカンザクラが咲き始め

た八重岳の情景を歌っています。桜の花見を終えて「さあ帰ろう」という時に、いとしい入(無蔵)の姿と桜の美しさなどを重ねているように感じられる歌に仕上がっています。

今回紹介した作品は、県立芸術大学音楽学部琉球芸能専攻1年の学生たちが頑張って作りました。皆さんもオリジナリティーあふれる琉歌の創作にチャレンジしてみましょう。

琉球新報とりゅうPON! は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE (教育に新聞を) 価格の1部あたり40円で購入できます。

ていーち! Teach!!



りゅう か おき なわ 琉歌は沖縄そのもの

# 受け継がれる祖先の思い

すず き こう た 鈴木 耕太

(沖縄県立芸術大学准教授)

本年度は「琉歌」をテーマに、創作してみる、親しむ、秀歌(優れた歌)を鑑賞することにチャレンジしてみました。今回は1年間を振り返り、「琉歌」という文化についてまとめの話をしたいと思います。

私たちは、日常生活を送る上で「琉歌が必須である」とは言い切れません。日本語で生活は完結できますし、読者の皆さんの中には沖縄の年中行事をしない家庭もあるかもしれません。しかし、沖縄の行事や伝統文化と「琉歌」は切っても切れない関係です。

例えばエイサーで用いられる歌の歌詞には琉歌が使われており、琉球古典音楽の歌詞も琉歌が基本です。民謡や琉球舞踊も琉歌が多く用いられます。わらべうたや教訓も琉歌になっているものが多く、「ていんさぐぬ花」や名護親方が伝えた「いろは歌」は、現在も歌い、語り継がれています。

## 足元の文化触れて

もし、私たちの世界から琉歌が消えてしまったらどのようなことが起こるでしょうか。琉球古典音楽や民謡、琉球舞踊、エイサーの歌詞もすべて日本語か和歌の形式になると、私たちの祖先が語り継いできた「思い」はうまく表現できるのでしょうか。言葉は、意味だけでなく、イントネーションやリズムなども含まれます。沖縄の言葉で作られた文芸は、その雰囲気も含まれているのです。

では、どのようにすれば琉歌に触れることができるのでしょうか。実際に自分で上手に作る



イラスト サイトウカナエ (イラスト沖縄)

**問題**

イラストの琉歌を詠んで、意味を解こう

**分かれば**

「うしゅがなし」

レベル★★★★★

ことは簡単ではありません。しかし、琉歌は身の回りにあふれているので、私たちから琉歌という文化に歩み寄ることは難しくありません。沖縄は「芸能の島」「歌の島」などと表現されるほど、身の回りに多くの芸能があります。毎週土・日曜には、さまざまな場所で芸能公演が開かれています。そのような公演を鑑賞したり、地域で行われている行事を見に行ったりすることができます。この1年で紹介してきた琉

歌は、皆さんの周りにある文芸から紹介したものです。琉歌に触れたり、しまくとぅばに触れたりすると、私たちの世界はもっと広くなります。これは英語などの外国語を話せるようになることと同じなのです。足元にある文化を見つめ直して、積極的に琉歌に触れてみてはいかがでしょうか。

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業 (第2週掲載)

2024年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育事業 (第2週掲載)



琉球新報とりゅうPON!は、学校で5部以上同じ紙面を使う場合は、1部150円のところNIE(教育に新聞を)価格の1部あたり40円で購入できます。

問い合わせ・申し込みは、琉球新報社地域読者局 ☎098(851)5190 nie@ryukyushimpo.co.jp

## 8 令和6年度しまくとぅば実践授業録画日一覧

令和6年 しまくとぅば実践教育 授業録画日一覧（括弧内の数字は回数）

### 【前期】

**授業実施回数** 舞踊実技Ⅰ（比嘉）8回、舞踊創作演習Ⅰ（比嘉）15回、  
琉球舞踊組踊研究Ⅱ（組踊）（嘉数）1回、琉球語Ⅰ（仲原）

令和6年

- 4月10日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（1）
- 4月15日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（1）
- 4月17日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（2）
- 4月22日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（2）
- 4月24日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（3）
- 5月8日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（4）
- 5月13日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（3）
- 5月20日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（4）
- 5月22日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（5）
- 5月29日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（6）
- 6月3日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（5）
- 6月17日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（6）
- 6月5日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（7）
- 6月12日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（8）
- 6月13日 琉球語Ⅰ／仲原
- 6月19日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（9）
- 6月24日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（7）
- 6月26日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（10）
- 7月3日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（11）
- 7月8日 舞踊実技Ⅰ／比嘉（8）
- 7月10日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（12）
- 7月17日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（13）
- 7月19日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（14）
- 7月24日 舞踊創作演習Ⅰ／比嘉（15）
- 9月16日 琉球舞踊組踊研究Ⅱ（組踊）／嘉数（1）

### 【後期】

**授業実施回数** 琉球舞踊組踊研究Ⅱ（組踊）（嘉数）2回、舞踊実技Ⅳ（比嘉）8回  
琉球舞踊実技Ⅷ（嘉数）3回、琉球舞踊組踊研究Ⅱ（琉球舞踊）（嘉数）3回

- 10月6日 琉球舞踊組踊研究Ⅱ（組踊）／嘉数（1）
- 10月11日 琉球舞踊組踊研究Ⅱ（組踊）／嘉数（2）
- 10月28日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（1）
- 11月11日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（2）
- 11月18日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（3）
- 11月25日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（4）
- 12月9日 舞踊実技Ⅳ／比嘉（5）

12月16日 舞踊実技Ⅳ／比嘉 (6)

12月23日 舞踊実技Ⅳ／比嘉 (7)

令和7年

1月17日 琉球舞踊実技Ⅷ／嘉数 (1)

1月20日 舞踊実技Ⅳ／比嘉 (8)

1月28日 琉球舞踊組踊研究Ⅱ (琉球舞踊) ／嘉数 (1)

2月6日 琉球舞踊実技Ⅷ／嘉数 (2)

2月13日 琉球舞踊実技Ⅷ／嘉数 (3)

2月14日 琉球舞踊組踊研究Ⅱ (琉球舞踊) ／嘉数 (2)

2月19日 琉球舞踊組踊研究Ⅱ (琉球舞踊) ／嘉数 (3)

令和6年度しまくとぅば実践教育プログラム開発事業  
事業報告書

令和7年3月31日

編 集 鈴木 耕太・喜屋武 愛香・金城 安恵

発 行 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町 3-6

電話098-882-5040

事業委託者 琉球新報社 担当 滝本、池宮